



公益社団法人
鹿児島県理学療法士協会
ニュース No.99 (138)

2023. 9. 4

- 発行 公益社団法人 鹿児島県理学療法士協会
- 発行人 平名 章 二
- 編集 原口 拓 人
- 事務局 〒890-0063 鹿児島市鴨池1丁目48-25
TEL099 (203) 0860
FAX099 (203) 0865
- 印刷 中礼印刷

総会員2673名 (7/31現在)

URL : <http://infokpta.com/>
e-mail : infokpta@po.minc.ne.jp



犬飼滝 (霧島市)

目 次

2022年度鹿児島県理学療法士協会 事業報告・計画・収支報告 …………… 2	令和5年度ダイハツ「健康安全運転講座」報告 …… 52
会長あいさつ …………… 28	研修報告 学部部より …………… 53
副会長・理事・部長あいさつ …………… 29	研修報告 専門部より …………… 54
2023年度鹿児島県理学療法士協会組織図 …………… 36	「全国障がい者スポーツ大会 (かごしま大会) 審査資格の活動報告 …………… 55
2022年度鹿児島県PT・OT・ST連絡協議会 事業報告・収支決算書報告 …………… 37	「全国障がい者スポーツ大会 (かごしま大会) コンディショニンググループに従事する方々への事前研修会の開催 …… 57
第36回鹿児島県理学療法士学会 受賞者紹介 …… 45	大隅地区 研修会報告 …………… 59
2023年度写真コンテストの案内 …………… 47	南薩地区 研修会報告 …………… 60
令和5年度訪問リハビリテーション研修会のお知らせ …… 49	私のおすすめ …………… 61
2023年度奄美地区症例検討会のお知らせ …………… 51	事務局だより・編集後記 …………… 62

令和4年度 事業総括

(公社) 鹿児島県理学療法士協会 会長 平 名 章 二

コロナ禍で会長を拝命して最初の1期2年を会員の皆さんの多くのご支援ご協力のもと会の運営ができましたことをまずは感謝申し上げます。

この1年間はウィズコロナ・アフターコロナと言いつつもなかなか対面の活動はできず、会員同志の交流も対外的活動も大幅に制限され、我々の最大の強みである「寄り添う」活動がままならぬ状況にありました。しかしながら会員一人一人の地道な活動により、広く県民にとまではいきませんが、しっかりと県民の健康・保健福祉の向上に寄与することができた1年であったと振り返るところです。

言葉を重ねますが、当会の活動は学術研鑽と職能、職域の拡大をもって県民医療・福祉に貢献するものであります。本年次(令和4年度)もコロナ禍ではありますがこれらについて事業を滞りなく行いました。

まず教育、学術・技能向上については新型コロナの状況を考慮しハイブリッド・オンラインでの活動が主となりました。技術の向上と伝達においてface to faceで活動できないもどかしさを感じつつも熱心な会員の眼差しを非常に頼もしく感じたところです。特に本年次は新生涯学習システムの移行・稼働開始に伴い混乱も見られましたが、担当理事・部長以下スタッフが平時の業務が多忙な中で会員のために準備に尽力頂きソフトランディングできたのではないかと思います。新人会員をはじめとした多くの会員の研鑽に活用できたかと思えます。また、学会においてはオンライン開催としましたが多くの演題が登録され、質疑が交わされていました。学会長始め準備委員の皆さんに感謝申し上げます。

さらに年次末には待望の「理学療法かごしま」が刊行され、当県独自の新たな学術活動がスタートしており、お手元に届いたことかと思えます。将来に当県から新技術が発信されることを期待したいと思います。

保健医療・福祉の向上に資する職能活動・職域の拡大においては本年次も各地域において様々な活動を行いました。会員の努力により、感染対策を行い感染が持続することなく地域包括ケア関連事業・介護予防事業を実施しました。民間企業との協業で高齢者への安全運転事業にも寄与できましたことも申し添えます。また次年次(令和5年度)は「かごしま国体・かごしま大会」へのスポーツ活動参画もあり、その準備も着々と進められました。担当部長・参加スタッフの尽力により盛会となることを確信しているところです。さらに懸案事項であった学校保健に関する事業も連盟との協業により実現へ大きな一歩を踏み出す準備もできました。次年次の活動が大きくステップアップできるものと思えます。

一方で地域間活動はコロナ禍のあおりを前年度に引き続きともを受けており、会員交流はかなり制限され続けました。それでも限られた機会、ツールで会員間での情報交換が行われるよう活動されました。

以上、令和4年度事業がコロナ禍において制限があったものの当初の目標を概ね達成できたことをご報告いたします。

令和4年度 始期重点課題

- (1) 新人理学療法士のサポートと新生涯学習システムの円滑な運営
- (2) 学術研究の場の拡大、臨床力向上の場の提供
- (3) 地区機能の拡大による活動の充実
- (4) 地区内及び地区間ネットワークの構築と運用
- (5) 行政等との協働による職能活動の推進と拡大

最後に、当会としては今後も県民に対し責任ある医療人として活動するためには我々の技術向上・価値向上が重要であり、そのためにも理学療法士の職域拡大・保障は重要な課題と捉えています。同時に「会員の職業倫理の高揚を図るとともに、理学療法の学術及び技能の向上を推進し、県民の医療及び保健の充実並びに福祉の向上に寄与すること」の目標を達成するため、どうぞ会員諸氏の変わらぬご協力をお願いします。

令和4年度 事業報告

事業名

I. 公益事業

1. 医療・保健及び福祉の発展に寄与する事業

後援

日本マネジメント学会第20回九州・山口連合大会
快護生活フェス！福祉機器展&セミナーinかごしま
令和4年度がん診療連携拠点病院機能強化事業市民公開講座
第12回呼吸療法セミナー
鹿児島高次脳機能研究会
始良地区医師会共催学術講演会痙縮治療セミナー
第36回鹿児島リハビリテーション医学研究会

委員の派遣

鹿児島県障害者介護給付等不服審査会委員
「シニア世代のヘルスプロモーション事業」事業推進委員会
第12回口腔機能管理推進協議会
介護ロボット普及に関する連絡会
鹿児島県介護実習普及センター運営協議会
介護認定審査会委員（薩摩川内市3、曾於地区3、鹿児島市17、始良伊佐地区6、南薩介護保険事務組合9、北薩広域行政事務組合6、さつま町1、指宿市3、日置市7、大隅肝属広域事務組合8、奄美7）
障害支援区認定審査委員（鹿児島市3、始良伊佐地区2、北薩広域行政事務組合1、大隅肝属広域事務組合2、日置市2）
鹿児島市介護給付適正化事業（ケアプラン適正化指導検討会）に係る指導者

講師派遣

健康安全運転講座（株式会社ダイハツ）
第10回多職種連携シンポジウムシンポジスト
第12回呼吸療法セミナー
令和4年度始良市介護予防・生活支援サービス従事者研修会
鹿児島マラソン2023ボランティア派遣
介護予防教室（介護実習普及センター）

機能訓練事業委託

十島村 鹿児島市社会福祉協議会

(障がい児・者福祉部)

・令和4年度発達サポート研修会

【第1回】

開催日：令和4年7月30日(土) 10:00～11:30
令和4年8月7日(日) 10:00～11:30 ビデオ開催(録画放送)

形式：Web開催

テーマ：こどもの足の特徴と靴の選び方

講師：下島 和也PT

対象：保育・幼稚園関係者、療育関係者、保護者等

参加者：計89端末(1端末から複数人参加を含む)

→ (内訳) 7月30日：55端末 8月7日：34端末

【第2回】

開催日：令和4年11月5日(土)10:00～11:30

形式：Web開催

テーマ：小学校で取り組む「これからの健康教育」
- コロナ禍で加速する、子どもの姿勢や動きの変化 -

講師：小牧 隼人PT

対象：県内の公立小学校教諭、保護者等

参加者：30 端末(42人)

・鹿児島市 子どもすこやか安心ねっと事業調整会議への出席

・部会 年3回開催

(高齢者福祉部)

介護技術伝達講習会

日 時：令和5年3月4日 13:00～15:00

開催場所：Web開催式 参加人数11名

講習会内容：移乗介助と福祉用具使用法

部会1回開催

鹿児島県社会福祉協議会 介護技術講習会への講師派遣協力

(医療保険部)

診療報酬関連法令の情報収集と会員からの相談対応

◆会員からの相談対応

○相談件数：4件

○相談内容：

- ・疾患別リハにおけるリハ実施計画書(様式21)の作成、同意について
- ・リハビリテーション総合計画評価料の算定タイミングについて
- ・回復期病棟入院料における重症者割合の算出について
- ・疾患別リハの脳血管算定における施設基準における医師要件について

(介護保険部)

・介護保険・報酬制度に関する適正な解釈について情報を収集する

・介護保険制度並びに報酬制度に関する問い合わせに対し、メールで受け付け、情報収集をして現状での参

考回答を返信する

介護保険報酬・制度に関する適正な解釈について情報を収集する。

厚生労働省介護報酬改定に関する HP や Q&A にて情報収集実施

・介護保険制度並びに報酬制度に関する問い合わせに対し、メールで受け付け、情報収集をして現状での

参考回答を返信

問い合わせ件数：1件(下半期1件)

問い合わせ内容

・訪問リハ：医師の診察、指示に関するもの

2. 職業倫理高揚並びに学術及び技術の向上に関する事業地域リハビリテーション活動 地区会員の学術・技術の向上、地区会員の情報共有や連携・組織化(ネットワークの構築)

(始良ブロック)

【第1回】始良地区研修会(Web開催)

日 時：令和4年6月14日(火) 19:00～20:30

テーマ：『新生涯学習制度について～本当に大変? 登録理学療法士制度～』

講師：白尾 麻美PT 参加者：82名

【第2回】始良地区研修会(Web開催)

日 時：令和4年10月27日(木) 19:00～20:00

テーマ：『脳卒中に対する理学療法』

講師：山田 隆治PT 参加者：36名

【第1回】始良地区症例検討会(Web開催)

日 時：令和4年11月17日(木) 18:30～19:15 参加者：40名

【第3回】始良地区研修会(Web開催)

日 時：令和4年12月15日(木) 19:15～20:15

テーマ：『股関節機能障害の理学療法』

講師：牛ノ濱 政喜PT 参加者：39名

【第2回】症例検討会 【第4回】研修会(Web開催)

日 時：令和5年1月19日(木)

【第2回】症例検討会：18:30～19:15 参加者：21名

【第4回】研修会：19:15～20:15

テーマ：発達障害に対する理学療法 ～発達性協調運動障害を中心に～

講師：竹田 孝幸PT 参加者：60名

【第3回】症例検討会 【第5回】研修会(Web開催)

日 時：令和5年2月16日(木)

第3回 症例検討：18:30～19:15 参加者：52名
第5回 研修会：19:15～20:15
テーマ：物理療法のエビデンスと治療展開
講師：福村 俊之PT 参加者：48名
地区会議・運営打ち合わせ16回開催

(北薩ブロック)

【研修会】

11月16日(水) 19:00～21:00
開催方法：Web開催研修会
テーマ：「歩行の基礎知識とアプローチの紹介」
講師：鈴木 伸洋PT 参加者数：78名
会議 1回

(鹿児島ブロック)

【第1回】鹿児島地区症例検討会

日時：令和4年9月2日(金) 19:00～19:30
場所：Web開催
参加人数：19名 症例検討会 1題

【第1回】鹿児島地区研修会

日時：令和4年12月10日(土) 9:00～12:00
場所：Web開催
テーマ：「脳卒中患者への個別治療の組み立て方」
～みなさんはどういった考え方でリハビリテーションを組み立てていますか?～
講師：鈴木 伸洋PT参加人数：30人

【第2回】鹿児島地区症例検討会

日時：令和5年1月13日(金) 19:00～20:30
場所：Web開催
●E-1神経系症例検討会：3題 参加人数：15名
●E-2運動器系症例検討会：1題 参加人数：17名
地区会議 6回開催

(大隅ブロック)

【第1回】大隅地区研修会

開催日時：5月26日(木) 18:30～19:30
開催場所：Web開催
研修会テーマ：「～本当に大変?登録理学療法士制度～」
講師：白尾 麻美PT 参加人数：96名

【第2回】大隅地区研修会

開催日時：9月16日(金) 18:30～19:30
開催場所：Web開催
研修会テーマ：「変形性膝関節症への理学療法介入のポイント
～ガイドラインから考える運動療法～」
講師：新保 千尋PT 参加人数：53名

【第1回】大隅地区症例検討会

開催日時：11月10日(木) 18:30～19:10
開催場所：Web開催
発表者：1名、参加者：41名

【第3回】大隅地区研修会

開催日時：12月1日(金) 18:30～19:30
開催場所：Web開催
研修会テーマ：「股関節疾患の歩行動作への理学療法」
講師：新保 千尋PT 参加人数：52名
地区会議 4回開催

(南薩ブロック)

地区研修会

- ① 日 時 : 令和4年7月15日(金) 19:00~20:00
 テーマ : これからの臨床実習
 講 師 : 木場 涼介PT 参加者 : 35名
- ② 日 時 : 令和4年8月25日(木) 19:00~20:00
 テーマ : 変形性膝関節症患者の歩行観察
 講 師 : 有馬 直也PT 参加者 : 38名
- ③ 日 時 : 令和4年9月21日(水) 19:00~20:00
 テーマ : 脳卒中リハビリテーション 電気刺激と振動刺激を用いた併用療法について
 講 師 : 湊上 祐一PT 参加者 : 28名
- ④ テーマ : ロボットリハビリテーションの現状と課題について
 講 師 : 古賀 喜基PT 参加者 : 16名
- ⑤ 日 時 : 令和4年11月24日(木) 19:00~20:00
 テーマ : 認知行動療法(第1・2世代)とリハビリテーションの概論
 ~破局的思考で、認知行動療法を楽しく学ぼう~
 講 師 : 田口 光PT 参加者 : 33名
- ⑥ 日 時 : 令和4年12月20日(火) 19:00~20:00
 テーマ : 地域での理学療法士の役割 ~訪問によるリハビリテーションを通して~
 講 師 : 徳富 健太PT 参加者 : 30名

地区症例検討会

- ① 令和4年7月15日(金) 20:00~20:30 1症例 参加者 : 44名
- ② 令和4年8月25日(木) 20:10~20:40 1症例 参加者 : 34名
- ③ 令和4年9月21日(水) 20:10~20:40 1症例 参加者 : 29名
- ④ 令和4年10月30日(日) 11:10~11:40 1症例 参加者 : 22名
- ⑤ 令和4年11月24日(木) 20:10~20:40 1症例 参加者 : 30名
- ⑥ 令和4年12月20日(火) 20:10~20:40 1症例 参加者 : 26名

(奄美ブロック)

【第1回】奄美地区研修会

日 時 : 令和4年9月3日(土) 14:00~17:00

講 師 : 幸田 康宏PT

テーマ : 『腰痛治療の臨床推論』

参加者 : 14名

【第2回】奄美地区研修会

日 時 : 令和5年2月18日(土) 14:00~17:00

講 師 : 吉田 研吾PT

テーマ : スポーツ障害の理学療法 (肩関節)

参加者 : 14名

(学術部)

学術部主催の研修会を4回、日本理学療法士協会主催の理学療法士講習会1回をZoomを使用したweb形式で開催

【第1回】研修会

日 時 : 令和4年7月24日(日) 9:30~12:40

テーマ : 運動器疾患における歩行障害の評価と治療 -股関節障害を中心に-

講 師 : 建内 宏重 先生 (京都大学大学院医研究科)

参加者 : 98名

【第2回】研修会

日 時 : 令和4年8月21日(日) 9:30~16:40

テーマ : 内部障害に対する理学療法の進め方の基本

講 師 : 大重 匡PT、坂元 将也PT、宇都 良大PT

参加者 : 59名

【第3回】研修会

日 時：令和4年10月1日(土) 13:00~16:10 10月2日(日) 9:30~12:40
テーマ：がん理学療法-退院支援、在宅支援、就労支援のための基本的な関わり方
講 師：高倉 保幸 先生 (埼玉医科大学)
参加者：29名

【第4回】研修会

日 時：令和4年12月18日(日) 9:30~12:40
テーマ：脳卒中に対する歩行トレーニング 基礎から実際
講 師：大畑 光司 先生 (京都大学大学院医研究科)
参加者：64名

【日本理学療法士協会主催理学療法士講習会】

○包括的な心身機能の維持・向上を目指した介護予防活動の基本と実践
日 時：令和4年8月7日(日) 9:30~16:40
講 師：牧迫 飛雄馬PT
参加者：68名

(学術資料部)

学術部主催研修会、日本理学療法士協会主催理学療法士講習会において、Zoomのレコード機能を利用して録画した。配信の希望者はいなかったため、オンデマンド配信は行わなかった。

【第36回鹿児島県理学療法士学会の開催】

日 時：2月19日 web開催 参加者：315名
特別講演：「脳卒中患者の上肢と手の治療経験と研究から」
講 師：誠愛リハビリテーション病院 林 克樹先生
ランチョンセミナー
「グラデーションマインド - 脳卒中当事者の可能性を引き出す思考法 -」
講 師：旭神経内科リハビリテーション病院 小林 純也 先生
一般演題 20題 (口述)

(専門領域研究部)

生活環境系2回、小児系1回、呼吸器系1回、神経系1回、循環器系1回、運動器系2回、スポーツ系2回(障がい者1回、アスリート1回)の計10回開催全てZoomを使用したweb形式で研修会を実施。

生活環境系)

- ①開催日：令和4年10月9日(日) 9:00~12:00
テーマ：「福祉用具と生活環境支援」
講 師：土井敦PT 参加人数：28名
- ②開催日：令和4年11月13日(日) 9:00~12:00
テーマ：「高齢期の理学療法 ~デジタル化も含めた施設の現状と実践について
福祉用具と生活環境支援~」
講 師：岩森 俊PT 参加人数：31名

小児系)

開催日：令和4年10月23日(日) 9:00~12:00
テーマ：臨床に役立つ小児発達評価と理学療法(中枢神経疾患)
講師：竹田 孝幸PT 参加人数：19名

呼吸器系)

開催日：令和4年10月30日(日) 9:00~12:00
テーマ：「呼吸器疾患と栄養」講師：吉野徹PT
テーマ：「呼吸器疾患とADL」講師：永田健二PT 参加人数：26名

神経系)

開催日：令和5年1月22日(日) 9:00~12:00
テーマ：「神経系理学療法の基礎とニューロリハビリテーション」
講 師：前田敏也PT、上橋秀崇PT 参加人数：25名

循環器系)

開催日：令和5年2月5日(日) 9:00~12:20

テーマ：「内部障害と骨格筋の関連性について」

講師：菅原直美PT野島丈史PT 小野田哲也PT 参加人数：50名

運動器系)

①開催日：令和4年11月23日(祝) 9:00~12:00

テーマ：「身体特性から考える運動器疾患に対する理学療法 (upper quarter 編)」

講師：白尾 泰宏PT 参加人数：43名

②開催日：令和5年3月5日(日) 9:00~12:00

テーマ：「身体特性から考える運動器疾患に対する理学療法 (lower quarter 編)」

講師：白尾 泰宏PT 参加人数：32名

スポーツ系)

開催日：令和5年1月26日(木) 19:00~20:30

テーマ：「全国障がい者スポーツ大会とコンディショニングルーム運営とは」

講師：竹内 直人PT 松田 史代PT 参加人数：51名

アスリート系)

開催日：令和5年2月12日(日)

テーマ：「東京オリ・パラ用JPTAブラッシュアップ研修伝達～足関節テーピング編～」

講師：轟原与織PT 参加人数26名

(生涯学習部)

新卒者オリエンテーション

令和4年4月17日(日) web開催 基地局：鹿児島大学医学部保健学科

09:30~09:45 会長挨拶

09:45~10:15 倫理

10:15~10:45 理学療法連盟政策

10:45~11:00 協会入会案内 参加者 122名

(前期研修)

令和4年5月29日(日) web開催

A-1：職業人と倫理 参加者 32名

A-2：協会組織 参加者 31名

A-3：人間関係および接遇 参加者 30名

A-5：理学療法における情報管理 参加者 30名

令和4年6月19日(日) web開催

A-4：理学療法における関係法規 参加者 63名

A-6：生涯学習において 参加者 63名

A-1：職業人と倫理 参加者 40名

A-2：協会組織 参加者 40名

令和4年7月24日(日) web開催

A-3：人間関係および接遇 参加者 30名

A-5：理学療法における情報管理 参加者 30名

A-4：理学療法における関係法規 参加者 63名

A-6：生涯学習において 参加者 63名

(後期研修)

令和4年10月2日(日) 会場放映

B-1：臨床疫学Ⅰ、Ⅱ 参加者2名

B-2：文献検索演習 参加者 2名

令和4年11月6日(日) 会場放映

C-1：神経系理学療法① 参加者 13名

C-2：運動器理学療法① 参加者 13名

(臨床教育支援推進委員会)

鹿児島県理学療法士養成課程臨床実習指導者養成連絡協議会協議会と連携して、5回の鹿児島県臨床実習指導者講習会を開催、208名が修了(修了者数合計は1115名)。

臨床実習施設認定制度を新指定規則に沿って改定し、制度を再開。

4. 理学療法に関する会誌その他の刊行物の発行及び調査研究に関する事業

(編集部)

編集部会

編集部会 3回開催

機関誌の発行

- 第1回 (No. 93) 令和4年6月27日発行 (冊子版)
第2回 (No. 94) 令和4年8月22日発行 (WEB版)
第3回 (No. 95) 令和4年10月17日発行 (WEB版)
第4回 (No. 96) 令和4年11月28日発行 (冊子版)
第5回 (No. 97) 令和5年2月27日発行 (WEB版)

(調査・資料部)

調査資料部会議 4回開催

調査事業

- 令和3年介護報酬改定影響調査
調査期間：令和4年4月6日～5月13日
調査方法：ホームページ、メール 回答数26件
- 令和4年診療報酬改定影響調査
県協会ニュースならびに会員の協会情報収集に関する調査
調査期間：令和4年9月20日～10月10日
調査方法：ホームページ、メール 回答数74件
- 令和4年新入会員アンケート
調査期間：令和5年1月19日～2月19日
調査方法：ホームページ、メール 回答数20件

5. 関連団体との連絡及び協力に関する事業

(公益事業部)

介護予防推進キャンペーン (全国一斉イベント)

日時：令和4年7月17日 (日) 10:00～16:00

会場：イオンモール鹿児島

内容：広報、相談ブース出展 (腰痛、足部相談)、介護・健康相談ブース

相談：20件

介護予防シンポジウム①

日時：令和4年8月22日 19:00～20:30

会場：web開催

内容：シンポジウム形式の研修会

介護予防事業、市町村の事例報告、トピックス、意見交換

講師：永濱 智美PT、富岡 一俊PT、原野 信人PT、小牧 隼人PT

参加者：70名

公開講座 (看護・介護職員向け動作介助研修会)

日時：令和4年12月18日 10:00～16:00

会場：オンライン開催

講師：土井 敦PT、木藤 正暁PT、岩森 俊PT

参加者：24名

介護予防シンポジウム②

日時：令和5年3月9日

会場：オンライン開催

内容：シンポジウム形式の研修会

分野別の自助へのアプローチ、講義、意見交換

講師：西 洋樹PT、松下 元樹PT、中村 弘樹PT、大渡 昭彦PT

参加者：74名 (内他職種8名)

*かごしま市民健康まつり (渉外部への協力)

(渉外部)

かごしま市民健康まつりへの参加

日時：令和4年10月30日

会場：鹿児島アリーナ

内容：相談ブース 2ヶ所 (①体力測定②女性リハ)

対応人数：173名 (男性 36名 女性 137名)

県くらし保健福祉部健康増進課との意見交換会（地域保健）

日 時：令和4年12月12日

県保健体育課・健康増進課との意見交換会（学校保健）

日 時：令和4年12月22日

鹿児島マラソンボランティア従事

日 時：令和5年3月5日 7:00～16:00（従事場所によって多少異なる）

参加スタッフ：33名

内 容：4ヶ所の救護所で救護ボランティアに従事、モバイルAED、定地AED

（管理者研修会）

令和4年度 協会指定管理者研修（初級）開催

令和5年1月26日 ①『EPDCA サイクル』白木 信義PT ②グループワーク 参加者13名

6. 理学療法士の社会的地位の向上

（広報部）

すこやか体力測定～介護予防推進キャンペーン

（全国一斉イベント）での広報活動（理学療法士協会物品配布）

日 時：令和4年7月17日（日） 8:45～15:00

場 所：イオンモール鹿児島

鹿児島県理学療法士協会公式LINEでの情報配信

登録者 3/31 現在 811 今年度配信回数：76回

都道府県理学療法士会 広報担当者会議 参加・傍聴

II. その他の事業

1. 会員の福利厚生に関する事業

（福利厚生部）

会員向け写真コンテストの企画・開催

- ・ 県士会ホームページ、協会ニュース、県士会LINEにて案内
- ・ 応募期間：令和4年8月1日～令和5年1月31日
- ・ 応募数：5点
- ・ 最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作2点を決定し表彰した。

III. 管理費

（総務部）

会員との連絡及び郵送物の発送、会員管理（会員入退会及び異動等の手続き及び管理）、日本理学療法士協会との連携会議議事録の作成、整理及び保管業務、文書の収受、発行及び管理に関する業務 公印の管理に関する業務、刊行物の発送、整理、保管に関する業務

公益法人の手続き・必要書類の作成、ホームページ管理

関連団体との提携および共催・後援依頼の回答、規約の改正、各部との連携

代議員総会の実施 2021年度決算総会6/20、2023年度予算総会3/10

2022年度入会者151名 退会者81名（任意退会 44名、未納退会者25名、休会経過退会12名）

在会会員数 2393名（休会会員345名は含めず）（2023年3月31日現在）

（財務部）

年会費納入案内、年会費納入状況の確認作業、研修会参加費徴収業務、予算案及び決算書の作成、各部委員会の予算執行・支払等、出納帳管理、会計監査、委託公認会計士と連絡

2022年度年会費 2719名納入（既会員2568名 新入会員151名）

未納退会者 25名（2023年3月31日現在）

（理事会）

第1回 4/20 ①「入会・退会・休会・復会の承認について」 ②「学術誌投稿に関する事
こと」について ③「臨床実習施設の規定変更」について ④「令和3年度事
業報告」について ⑤「総会の日程について」 ⑥「賃金規定の追加」につ
いて ⑦「常勤職員の採用」について ⑧業務執行状況報告

第2回 5/18 ①「令和3年度事業報告の承認について」 ②「令和3年度決算報告」の確
認について ③「新生涯学習システム」について ④「臨床実習施設認証制
度改正について」 ⑤業務執行状況報告

- 第3回 6/15 ①「新生涯学習制度 運営方針案について」 ②「協会員への研究助成について」 ③「研修会委託費の増額について」 ④「全スポの現状報告とスポーツ理学療法運営担当者会議」の報告と今後について ⑤業務執行状況報告
- 第4回 7/20 ①「会員入会・退会・休会の承認について」 ②「地区内連携に向けての取り組みに関して(提案)」 ③「奄美地区研修会について」 ④「鹿屋市ハイリスクアプローチの業務委託について」 ⑤「第36回鹿児島県理学療法学会開催について」 ⑥業務執行状況報告
- 第5回 9/14 ①「事業追加の審議」 ②「公開講座の日程変更について」 ③業務執行状況報告
- 第6回 10/12 ①「推進リーダー制度における「士会指定事業」・「e-ラーニング免除推薦」の見直しについて」 ②「日本物理療法研究会アンケート依頼のHP掲載について」 ③理学療法かごしまの優秀論文賞と協会員への研究助成について ④業務執行状況報告
- 第7回 11/9 ①第2回都道府県理学療法士会生涯学習担当者意見交換会について ②業務執行状況報告
- 第8回 12/15 ①編集部(ニュース発行について) ②「介護予防シンポジウムについて」 ③業務執行状況報告
- 第9回 1/11 ①編集部(ニュース発行について) ②「理学療法かごしまの優秀論文賞と協会員への研究助成について」 ③かごしま国体・スポーツ理学療法の対応について ④業務執行状況報告
- 第10回 2/8 ①「令和5年度事業計画・予算書案」について ②県協会研究助成委員会の委員について ③業務執行状況報告
- 第11回 3/8 ①令和5年度学術部研修会の開催形式とオンデマンド配信について ②業務執行状況報告

関係団体との各種会議への出席 日本理学療法士協会との各種会議への参加
会長

日本理学療法士協会組織運営協議会

九州ブロック会長会議

事務局長

日本理学療法士協会都道府県事務局長会議

組織運営強化に向けた合同情報交換会 ～Spice フォーラム～

九州ブロック事務局長会議

(選挙管理委員会)

委員会会議2回

・鹿児島県理学療法士 役員選挙

・鹿児島県選挙システム(テスト選挙)に関して

県士会役員選挙告示・立候補受付・結果報告

(政策検討委員会)

九州政策活動委員会への参加 3回

委託事業(リーダー塾の開催)

令和4年5月17日「学びとリーダー 新生涯学習制度」

講師:白尾 麻美PT、参加者81名

令和4年6月24日「学びとリーダー他職種との関わりで得た学びの共有」

講師:神田 勝利PT、仲里 政成PT、福永 裕樹PT、参加者 45名

令和4年12月2日「明日から役立つ、理学療法士を取り巻く法律」

講師:弁護士 山本 浩貴 参加者 135名

委員会 年2回

県庁訪問 年2回

令和4年度収支計算書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

(単位: 円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
特定資産運用収入				
特定資産利息収入		221	△ 221	
特定資産運用収入計		221	△ 221	
入会金収入				
新人会員入会金収入	650,000	755,000	△ 105,000	
入会金収入計	650,000	755,000	△ 105,000	
会費収入				
正会員会費収入	24,120,000	23,112,000	1,008,000	
新人会員会費収入	1,170,000	1,359,000	△ 189,000	
会費収入計	25,290,000	24,471,000	819,000	
事業収入				
事業収入		108,561	△ 108,561	
受託事業収入	650,000	498,000	152,000	
研修会参加料収入	1,000,000	214,000	786,000	
事業収入計	1,650,000	820,561	829,439	
補助金等収入				
民間助成金収入	1,868,000	2,488,800	△ 620,800	
補助金等収入計	1,868,000	2,488,800	△ 620,800	
雑収入				
受取利息収入		366	△ 366	
雑収入	150,000	92,000	58,000	
雑収入計	150,000	92,366	57,634	
事業活動収入計	29,608,000	28,627,948	980,052	
2. 事業活動支出				
事業費支出				
給料手当支出	5,672,460	4,617,140	1,055,320	
退職給付支出		163,200	△ 163,200	
福利厚生費支出	1,096,032	890,074	205,958	
旅費交通費支出	1,163,582	120,985	1,042,597	
通信運搬費支出	1,324,200	906,523	417,677	
消耗什器備品費支出	25,000	174,570	△ 149,570	
消耗品費支出	538,000	80,084	457,916	
修繕費支出	105,000	97,900	7,100	
印刷製本費支出	2,794,800	1,914,617	880,183	
光熱水料費支出	85,000	52,366	32,634	
賃借料支出	606,000	426,461	179,539	
諸謝金支出	2,813,134	2,380,682	432,452	
負担金支出	1,522,000	1,322,400	199,600	
会議費支出	2,564,000	771,479	1,792,521	
会場費支出	951,200	133,984	817,216	
会場設営費支出	2,600,000	1,194,490	1,405,510	
図書費支出	21,000	20,816	184	
研修費支出	15,000		15,000	
事業費支出計	23,896,408	15,267,771	8,628,637	
管理費支出				
役員報酬支出		1,297,650	△ 1,297,650	
給料手当支出	3,833,640	5,583,110	△ 1,749,470	
退職給付支出		124,800	△ 124,800	
福利厚生費支出	1,040,472	622,616	417,856	
会議費支出	365,000	66,079	298,921	
旅費交通費支出	674,000		674,000	
通信運搬費支出	780,000	456,351	323,649	
消耗什器備品費支出	100,000	23,100	76,900	
消耗品費支出	325,000	50,998	274,002	
修繕費支出	170,000	23,100	146,900	
印刷製本費支出	200,000	59,350	140,650	
光熱水料費支出	123,000	87,229	35,771	
賃借料支出	394,000	358,863	35,137	
保険料支出	30,000	36,100	△ 6,100	
租税公課支出	30,000	23,100	6,900	
負担金支出	400,000	50,000	350,000	
支払手数料支出	600,000	140,693	459,307	
報償費支出	1,933,000		1,933,000	
諸会費支出	30,000		30,000	

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
研修費支出	50,000		50,000	
会場費支出	50,000	28,996	21,004	
図書費支出	10,000		10,000	
委託料支出	38,880	1,023,050	△ 984,170	
交際費支出	100,000	4,461	95,539	
管理費支出計	11,276,992	10,059,646	1,217,346	
事業活動支出計	35,173,400	25,327,417	9,845,983	
事業活動収支差額	△ 5,565,400	3,300,531	△ 8,865,931	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計				
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	400,000	400,000	0	
特定資産取得支出計	400,000	400,000	0	
固定資産取得支出				
什器備品購入支出	120,000		120,000	
ソフトウェア購入支出		638,000	△ 638,000	
固定資産取得支出計	120,000	638,000	△ 518,000	
投資活動支出計	520,000	1,038,000	△ 518,000	
投資活動収支差額	△ 520,000	△ 1,038,000	518,000	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計				
2. 財務活動支出				
財務活動支出計				
財務活動収支差額				
IV 予備費支出	13,914,600	—		
当期収支差額	△ 20,000,000	2,262,531	△ 22,262,531	
前期繰越収支差額	20,000,000	20,725,477	△ 725,477	
次期繰越収支差額	0	22,988,008	△ 22,988,008	

令和4年度収支計算書

自：令和4年4月1日 至：令和5年3月31日

(単位:円)

大科目	科目		予算額	決算額	差異	備考
	中科目	小科目				
I 収入の部						
1 会費収入	今年度分会費(既会員) 今年度分会費(新入会員) 今年度分会費(賛助会員)		24,120,000 1,170,000 0	23,112,000 1,359,000 0	△ 1,008,000 189,000 0	¥9,000×62名 ¥8,000×2522名 ¥9,000×164名
2 入会金収入	入会金(既会員) 入会金(新入会員) 入会金(賛助会員)		650,000 0 0	755,000 0 0	105,000 0 0	¥5,000×164名
3 事業収入	事業収入 受託事業収入 研修会参加料収入		150,000 500,000 1,000,000	108,561 498,000 214,000	△ 41,439 △ 2,000 △ 786,000	ゆふあい(社会福祉協議会) 十島村 79500(参加費用通帳3464003)
4 補助金収入	日本理学療法士協会より助成金 鹿児島県リハビリテーション協議会		1,768,000 100,000	2,388,800 100,000	620,800 0	協会主催講習会、啓蒙事業等 リモート運用支援金
5 寄付金			0	0	0	大西PT
6 雑収入			150,000	92,000	△ 58,000	団体保険控除等
普通預金利息			0	587	587	
当期収入合計(A)			29,608,000	28,627,948	△ 980,052	
前期繰越収支差額			20,000,000	20,725,477	725,477	
収入合計(B)			49,608,000	49,353,425	△ 254,575	

(単位:円)

大科目	科目		予算額	決算額	差異	備考
	中科目	小科目				
II 支出の部 1 公益事業費 理学療法を通じて、県民の医療・保健・福祉の増進に寄与するための事業	講演講師派遣	諸謝金	540,696	597,581	△ 56,885	
		消耗品費			0	
		保険料			0	
		印刷製本費			0	
		通信運搬費			0	
		会議費			0	
		旅費交通費			0	
		小計	540,696	597,581	△ 56,885	
	機能訓練事業委託	諸謝金	490,000	441,000	49,000	十島村
		消耗品費	0			
		旅費交通費	0			
		通信運搬費	0			
		小計	490,000	441,000	49,000	
			諸謝金	50,000	38,979	11,021
	福祉部 (障害児者福祉＋老人福祉)	消耗品費	5,000		5,000	
		消耗什器備品費	5,000		5,000	
		会議費	220,000	34,000	186,000	
		旅費交通費	54,400		54,400	
		通信運搬費	26,000	9,744	16,256	
		印刷製本費	11,000		11,000	
		会場費	50,000		50,000	
保険料				0		
賃借料		50,000		50,000		
小計		471,400	82,723	388,677		
医療保険部	諸謝金			0		
	印刷製本費			0		
	会議費	8,000		8,000		
	旅費・交通費	50,000		50,000		
	消耗品費			0		
	研修費	5,000		5,000		
小計	63,000	0	63,000			
介護保険部	諸謝金					
	印刷製本費					
	会議費	16,000		16,000		
	旅費・交通費	61,000		61,000		
	消耗品費					
	研修費	10,000		10,000		
小計	87,000	0	87,000			
人件費	給料手当	5,672,460	4,617,140	1,055,320		
	福利厚生費	1,056,032	850,074	205,958		
	旅費交通費					
	退職給付支出		163,200			
	小計	6,728,492	5,630,414	1,098,078		

(単位:円)

大科目	科目		予算額	決算額	差異	備考
	中科目	小科目				
職業倫理高揚並びに学術及び技術の向上に関する事業	地域リハビリテーション活動 (各地区)	諸謝金	500,000	328,426	171,574	
		消耗品費	30,000		30,000	
		会議費	500,000	187,000	313,000	
		旅費交通費	500,000		500,000	
		通信運搬費	300,000	15,540	284,460	
		印刷製本費	50,000		50,000	
		会場費	100,000		100,000	
		什器備品費	20,000		20,000	
		賃借料	0		0	
		小計	2,000,000	530,966	1,469,034	
	県学会開催	諸謝金	100,000		100,000	
		印刷製本費	483,800	502,000	△ 18,200	
		福利厚生費	10,000	10,000	0	
		消耗品費	0		0	
		会議費	500,000	237,497	262,503	
		旅費交通費	100,000	30,680	69,320	
		通信運搬費	156,200	247,834	△ 91,634	
		会場費	500,000	18,000	482,000	
		会場設営費	2,400,000	1,122,990	1,277,010	
		消耗什器備品費				
九州地区理学療法士会	小計	4,250,000	2,169,001	2,080,999		
	支払負担金	804,000	774,300	29,700	¥300×2.581名	
	通信運搬費	100,000		100,000		
	消耗品費			0		
	小計	904,000	774,300	129,700		
学術部	諸謝金	492,815	373,091	119,724		
	印刷製本費	240,000		240,000		
	賃借料			0		
	消耗品費	200,000		200,000		
	会議費	100,000	30,267	69,733		
	旅費交通費	24,000	3,320	20,680		
	通信運搬費	202,000	72,042	129,958	携帯料金 VIMEO	
	会場費		115,984	△ 115,984	Zoomライセンス	
	修繕費			0		
	什器備品費			0		
学術誌編集委員会	小計	1,258,815	594,704	664,111		
	旅費交通費	24,000		24,000		
	消耗品費	20,000		20,000		
	消耗什器備品費			0		
	会議費	150,000	45,000	105,000		
職業倫理高揚並びに学術及び技術の向上に関する事業	印刷製本費	1,200,000	614,790	585,210	理学療法かごしま製本費	
	通信運搬費	20,000		20,000		
	小計	1,414,000	659,790	754,210		

(単位:円)

大科目	科目		予算額	決算額	差異	備考		
	中科目	小科目						
教育機関に協力し理学療法士の の資質向上に寄与する事業	学術資料部	図書費	21,000	20,816	184	ジャーナル購読料		
		消耗品費			0			
		消耗品備品費			0			
		会議費			0			
		旅費交通費			0			
		通信運搬費			0			
		小計	21,000	20,816	184			
		諸謝金	320,187	286,777	33,410			
		印刷製本費	10,000		10,000			
		什器備品費						
		賃借料						
		消耗品費	30,000		30,000			
		会議費	150,000	75,000	75,000			
		旅費交通費	122,000	71,755	50,245			
通信運搬費	40,000		40,000					
会場費	21,600	28,996	△ 7,396	Zoomライセンス				
小計	693,787	462,528	231,259					
生涯学習部	臨床教育支援推進委員会	諸謝金	222,732	214,380	8,352			
		旅費交通費	12,062		12,062			
		消耗品備品費						
		消耗品費		131,670	△ 131,670			
		会議費	130,000	8,665	121,335			
		印刷製本費						
		会場費	129,600		129,600			
		小計	494,394	354,715	139,679			
		諸謝金	0		0			
		通信費	50,000		50,000			
		消耗品費	150,000		150,000			
		会議費	100,000		100,000			
		旅費交通費	50,000		50,000			
		会場費	100,000		100,000			
印刷製本費	50,000		50,000					
負担金	50,000	50,000	0					
小計	550,000	50,000	500,000					
理学療法に関する会誌その他の の刊行物の発行及び調査研究 に関する事業	編集部	印刷製本費	750,000	675,800	74,200			
		消耗品費			0			
		会議費	60,000	29,000	31,000			
		旅費交通費	2,000		2,000			
		通信運搬費	300,000	185,975	114,025			
		小計	1,112,000	890,775	221,225			
		通信運搬費			0			
		印刷製本費						
		消耗品費			0			
		会議費	60,000	20,000	40,000			
		旅費交通費	16,000		16,000			
		小計	76,000	20,000	56,000			
		調査・資料部	調査・資料部	通信運搬費				
				印刷製本費				
消耗品費					0			
会議費	60,000			20,000	40,000			
旅費交通費	16,000				16,000			
小計	76,000			20,000	56,000			

(単位:円)

大科目	科目		予算額	決算額	差異	備考
	中科目	小科目				
関連団体との連絡及び協力に関する事業	公益事業部	諸謝金	76,704	72,607	4,097	
		賃借料	250,000	107,661	142,339	サーバー・UTMリース料
		消耗品費	60,000	44,000	16,000	
		消耗什器備品費	10,000	42,900	△ 32,900	VPNルーター
		会議費	500,000	64,675	435,325	
		旅費交通費	123,000	9,530	113,470	
		通信運搬費	45,000	305,668	△ 260,668	電話代(20%)+郵送費
		福利厚生費				
		印刷製本費		89,027	△ 89,027	PC使用料(60%)
		諸会費		0	0	
		会場費	50,000		50,000	
		保険料			0	
		支払負担金	268,000	258,100	9,900	POS連絡協議会*100
		会場設営費	200,000	71,500	128,500	介護予防推進キャンペーン設営費 MBCサンステージ振込
		修繕費		42,900	△ 42,900	
		什器備品費			0	パソコン
		小計	1,582,704	1,108,568	474,136	
渉外部		諸謝金	10,000	27,841	△ 27,841	
		通信運搬費		10,000	10,000	
		印刷製本費			0	
		消耗品費	10,000	12,984	△ 2,984	
		会議費	10,000	28,000	△ 18,000	
		旅費交通費	6,000	5,700	300	
		会場費			0	
		支払負担金	400,000	240,000	160,000	市民健康まつり
	小計	426,000	314,525	111,475		
	理学療法士の社会的地位の向上及び相互福祉に関する事業	広報部	修繕費	55,000	55,000	0
諸謝金					0	
消耗什器備品費					0	
消耗品費			23,000	22,990	10	広報物品 風船
会議費			20,000	5,701	14,299	
旅費交通費			19,120	19,120	0	
通信運搬費			65,000	100,980	△ 35,980	プロパゲータ・プログラム年間契約更新料・LINE
会場費						
小計			182,120	184,671	△ 2,551	
2 その他の事業 会員の福祉厚生に関する事業			福利厚生部	福利厚生費	30,000	30,000
	消耗品費	20,000			20,000	
	諸謝金	20,000				
	会議費	40,000			40,000	
	会場費				0	
	消耗什器備品費	10,000			10,000	
	通信運搬費	10,000		1,850	8,150	
	旅費交通費					
	小計	130,000		31,850	98,150	

(単位:円)

大科目	科目		予算額	決算額	差異	備考		
	中科目	小科目						
その他本会の目的を達成するために必要な事業	事務局維持費	光熱水料費	85,000	52,366	32,634			
		賃借料	306,000	306,000	0			
		修繕費	50,000	50,000	0			
		小計	441,000	358,366	82,634			
		小計	0	0	0			
		小計	200,000	200,000	0			
		3 管理費	通信運搬費の発送 会員の連絡及び郵送物の発送 (総務部)	通信運搬費	750,000	451,317	298,683	
				什器備品費	100,000			
				消耗品費	300,000	48,298	251,702	
				印刷製本費	200,000	59,350	140,650	
保険料	30,000			36,100	△ 6,100			
福利厚生費	150,000			48,244	101,756	冠婚葬祭費		
旅費交通費	274,000			274,000	0			
会議費	165,000			42,079	122,921			
諸会費	30,000			30,000	0			
修繕費	120,000			23,100	96,900	ウイルスソフト更新料		
租税公課	30,000	22,100	7,900					
図書費	10,000	10,000	0					
賃借料	100,000	64,863	35,137					
消耗品費	100,000	23,100	76,900	VPN/ルーター 設定費				
支払手数料	100,000	67,100	32,900	かざんFB-WEB基本料金				
会費	50,000	28,996	21,004					
交際費	100,000	4,461	95,539					
小計	2,609,000	919,108	1,689,892	693,000	公認会計士費用			
会費及び諸費の徴収、整理 (財務部)		報酬加算	693,000					
		研修参加費	50,000	50,000	0			
		通信運搬費	20,000	5,034	14,966			
		会議費	20,000	20,000	0			
		旅費交通費	20,000	20,000	0			
		修繕費			0			
		支払手数料	500,000	73,593	426,407			
		消耗品費	20,000	2,700	17,300			
		租税公課		1,000	△ 1,000			
		委託料		503,250	△ 503,250	吉田経営 会計		
什器備品費		638,000	△ 638,000	搬入ソフト				
小計	1,323,000	1,223,577	99,423	15,000				
理事会活動費		会議費	200,000	200,000	0			
		旅費交通費			0			
		交際費			0			
		諸謝金			0			
		役員報酬費	1,240,000	1,297,650	△ 57,650			
		会場費			0			
		諸会費			0			
		小計	1,440,000	1,312,650	127,350			

(単位:円)

大科目	科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異	備考
人件費			給料手当	3,833,640	5,583,110	△ 1,749,470	
			福利厚生費	890,472	574,372	316,100	
			退職給付支出		124,800	△ 124,800	
			旅費交通費				
			小計	4,724,112	6,282,282	△ 1,558,170	
			会議費	30,000	30,000		
			旅費交通費	10,000	10,000		
			通信運搬費	10,000	10,000		
			消耗品費	5,000	5,000		
			委託料	38,880	19,800	19,080	選挙管理システム
小計	93,880	19,800	74,080				
政策検討委員会			諸謝金			0	
			会議費	50,000	9,000	41,000	
			旅費交通費	30,000		30,000	
			通信運搬費			0	
			消耗品費			0	
			諸会費		50,000	△ 50,000	
			委託料	400,000	500,000	△ 100,000	
			小計	480,000	559,000	△ 79,000	
			会議費	50,000	50,000		
			旅費交通費	70,000	70,000		
通信運搬費			0				
消耗品費			0				
小計	120,000	0	120,000				
規約等審議委員会			会議費	50,000	50,000		
			旅費交通費	70,000		70,000	
			通信運搬費				
			消耗品費	0			
			小計	120,000	0	120,000	
			光熱水料費	123,000	77,707	45,293	
			賃借料	294,000	294,000	0	
			修繕費	50,000		50,000	
			旅費交通費			0	
			消耗品費				
小計	467,000	371,707	95,293				
事務局維持費			小計	200,000	200,000	0	
			事務所開設積立金	13,914,600		13,914,600	
			退職給付引当資産	49,608,000	26,365,417	23,242,583	
			予備費	△ 20,000,000	2,262,531	△ 24,222,635	
			当期支出合計(C)		22,988,008	△ 22,988,008	
			当期支出差額(A)-(C)				
			次期繰越収支差額(B)-(C)				

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	39,627,208	35,997,422	3,629,786
仮払金	0	289,360	△ 289,360
流動資産合計	39,627,208	36,286,782	3,340,426
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	4,218,989	3,818,989	400,000
事務局開設積立資産	14,713,751	14,713,751	0
特定資産合計	18,932,740	18,532,740	400,000
(3) その他固定資産			
什器備品	3,324,975	3,324,975	0
減価償却累計額	△ 3,030,070	△ 2,794,821	△ 235,249
電話加入権	72,618	72,618	0
ソフトウェア	510,400		510,400
その他固定資産合計	877,923	602,772	275,151
固定資産合計	19,810,663	19,135,512	675,151
資産合計	59,437,871	55,422,294	4,015,577
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	632,088	△ 632,088
前受金	16,452,000	14,814,000	1,638,000
預り金	187,200	115,217	71,983
流動負債合計	16,639,200	15,561,305	1,077,895
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,099,387	2,099,387	0
固定負債合計	2,099,387	2,099,387	0
負債合計	18,738,587	17,660,692	1,077,895
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	1,458,693	1,458,693	0
指定正味財産合計	1,458,693	1,458,693	0
(うち基本財産への充当額)	(1,458,693)	(1,458,693)	(0)
(うち特定資産への充当額)			
2. 一般正味財産	39,240,591	36,302,909	2,937,682
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)	(13,255,058)	(13,255,058)	(0)
正味財産合計	40,699,284	37,761,602	2,937,682
負債及び正味財産合計	59,437,871	55,422,294	4,015,577

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	221		221
特定資産運用益計	221		221
受取入会金			
新人会員入会金	755,000	820,000	△ 65,000
受取入会金計	755,000	820,000	△ 65,000
受取会費			
正会員受取会費	23,112,000	20,781,000	2,331,000
賛助会員受取会費		140,000	△ 140,000
新人会員会費	1,359,000	1,429,000	△ 70,000
受取会費計	24,471,000	22,350,000	2,121,000
事業収益			
事業収益	108,561		108,561
受託事業収益	498,000	645,057	△ 147,057
研修会参加料収益	214,000	3,588,000	△ 3,374,000
事業収益計	820,561	4,233,057	△ 3,412,496
受取補助金等			
受取民間助成金	2,488,800	1,763,500	725,300
受取補助金等計	2,488,800	1,763,500	725,300
雑収益			
受取利息	366	522	△ 156
雑収益	92,002	48,360	43,642
雑収益計	92,368	48,882	43,486
経常収益計	28,627,950	29,215,439	△ 587,489
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	4,617,140	4,397,536	219,604
臨時雇賃金		86,400	△ 86,400
退職給付費用	163,200	163,200	0
福利厚生費	890,074	883,595	6,479
旅費交通費	120,985	49,620	71,365
通信運搬費	906,523	507,608	398,915
減価償却費	253,995	239,165	14,830
消耗什器備品費	174,570	33,781	140,789
消耗品費	80,084	86,813	△ 6,729
修繕費	97,900	55,000	42,900
印刷製本費	1,914,617	1,327,430	587,187
会議費	771,479	534,275	237,204
光熱水料費	52,366	74,485	△ 22,119
賃借料	426,461	479,820	△ 53,359
諸謝金	2,380,682	2,229,597	151,085
支払負担金	1,322,400	1,307,000	15,400
会場費	133,984	152,330	△ 18,346
会場設営費	1,194,490	1,410,200	△ 215,710
図書費	20,816	20,816	0
事業費計	15,521,766	14,038,671	1,483,095
管理費			
役員報酬	1,297,650	1,290,000	7,650
給料手当	5,583,110	3,575,858	2,007,252
臨時雇給与		453,600	△ 453,600
退職給付費用	124,800	124,800	0
福利厚生費	622,616	615,008	7,608
会議費	66,079	104,676	△ 38,597
旅費交通費		13,690	△ 13,690
通信運搬費	456,351	578,351	△ 122,000
減価償却費	108,856	97,562	11,294
消耗什器備品費	23,100	79,875	△ 56,775
消耗品費	50,998	150,024	△ 99,026
修繕費	23,100		23,100
印刷製本費	59,350	63,756	△ 4,406
光熱水料費	87,229	110,187	△ 22,958

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
賃借料	358,863	387,588	△ 28,725
保険料	36,100	33,750	2,350
租税公課	23,100	23,200	△ 100
支払負担金	50,000		50,000
支払手数料	140,693	315,394	△ 174,701
報酬費		693,000	△ 693,000
会場費	28,996		28,996
委託料	1,023,050	419,800	603,250
交際費	4,461	202,000	△ 197,539
管理費計	10,168,502	9,332,119	836,383
経常費用計	25,690,268	23,370,790	2,319,478
評価損益等調整前当期経常増減額	2,937,682	5,844,649	△ 2,906,967
当期経常増減額	2,937,682	5,844,649	△ 2,906,967
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	2,937,682	5,844,649	△ 2,906,967
一般正味財産期首残高	36,302,909	30,458,260	5,844,649
一般正味財産期末残高	39,240,591	36,302,909	2,937,682
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	1,458,693	1,458,693	0
指定正味財産期末残高	1,458,693	1,458,693	0
III 正味財産期末残高	40,699,284	37,761,602	2,937,682

正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

	理学療法士の職業倫理の高揚を図る	会員の福利厚生に関する事業	法人会計	内部取引等消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
特定資産運用益					
特定資産受取利息			221		221
特定資産運用益計			221		221
受取入会金					
新入会員入会金	377,500		377,500		755,000
受取入会金計	377,500		377,500		755,000
受取会費					
正会員受取会費	11,556,000	31,850	11,524,150		23,112,000
新入会員会費	679,500		679,500		1,359,000
受取会費計	12,235,500	31,850	12,203,650		24,471,000
事業収益					
事業収益	108,561				108,561
受託事業収益	498,000				498,000
研修会参加料収益	214,000				214,000
事業収益計	820,561				820,561
受取補助金等					
受取民間助成金	2,488,800				2,488,800
受取補助金等計	2,488,800				2,488,800
雑収益					
受取利息	366				366
雑収益	74,002		18,000		92,002
雑収益計	74,368		18,000		92,368
経常収益計	15,996,729	31,850	12,599,371		28,627,950
(2) 経常費用					
事業費					
給料手当	4,617,140				4,617,140
退職給付費用	163,200				163,200
福利厚生費	860,074	30,000			890,074
旅費交通費	120,985				120,985
通信運搬費	904,673	1,850			906,523
減価償却費	253,995				253,995
消耗什器備品費	174,570				174,570
消耗品費	80,084				80,084
修繕費	97,900				97,900
印刷製本費	1,914,617				1,914,617
会議費	771,479				771,479
光熱水料費	52,366				52,366
賃借料	426,461				426,461
諸謝金	2,380,682				2,380,682
支払負担金	1,322,400				1,322,400
会場費	133,984				133,984
会場設営費	1,194,490				1,194,490
図書費	20,816				20,816
事業費計	15,489,916	31,850			15,521,766
管理費					
役員報酬			1,297,650		1,297,650
給料手当			5,583,110		5,583,110
退職給付費用			124,800		124,800
福利厚生費			622,616		622,616
会議費			66,079		66,079
通信運搬費			456,351		456,351
減価償却費			108,856		108,856
消耗什器備品費			23,100		23,100
消耗品費			50,998		50,998
修繕費			23,100		23,100
印刷製本費			59,350		59,350
光熱水料費			87,229		87,229
賃借料			358,863		358,863
保険料			36,100		36,100
租税公課			23,100		23,100
支払負担金			50,000		50,000
支払手数料			140,693		140,693
会場費			28,996		28,996
委託料			1,023,050		1,023,050
交際費			4,461		4,461
管理費計			10,168,502		10,168,502
経常費用計	15,489,916	31,850	10,168,502		25,690,268
評価損益等調整前当期経常増減額	506,813	0	2,430,869		2,937,682
当期経常増減額	506,813	0	2,430,869		2,937,682
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計					
(2) 経常外費用					
経常外費用計					
当期経常外増減額					
他会計振替前当期一般正味財産増減額	506,813	0	2,430,869		2,937,682
当期一般正味財産増減額	506,813	0	2,430,869		2,937,682
一般正味財産期首残高	1,839,284	1,112,176	33,351,449		36,302,909
一般正味財産期末残高	2,346,097	1,112,176	35,782,318		39,240,591
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額					
指定正味財産期首残高			1,458,693		1,458,693
指定正味財産期末残高			1,458,693		1,458,693
III 正味財産期末残高	2,346,097	1,112,176	37,241,011		40,699,284

財務諸表に対する注記

1 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当なし。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当なし。

(3) 固定資産の減価償却の方法
什器備品については、定率法による減価償却を実施している。
ソフトウェアについては、定額法による減価償却を実施している。

(4) 引当金の計上基準
退職給付引当金
職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき当期末において発生していると認められる額を計上している。

(5) 資金収支計算書における資金の範囲
資金の範囲には、現金預金、未収会費、未収金、未払金、前受金及び預り金を含む。

(6) 消費税等の会計処理
該当なし。

3 会計方針の変更

平成22年度より「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を適用している。
なお、当該変更が財務諸表に与える影響はない。

4 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	3,818,989	400,000		4,218,989
事務局開設積立資産	14,713,751			14,713,751
合計	18,532,740	400,000	0	18,932,740

5 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	4,218,989	—	(2,119,602)	(2,099,387)
事務局開設積立資産	14,713,751	(1,458,693)	(13,255,058)	—
合計	18,932,740	(1,458,693)	(15,374,660)	(2,099,387)

6 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	3,324,975	3,030,070	294,905
合計	3,324,975	3,030,070	294,905

財産目録

令和5年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	鹿児島銀行 川辺支店	運転資金として	38,340,412
	鹿児島銀行 川辺支店	運転資金として	993,044
	鹿児島銀行 鴨池支店	運転資金として	293,511
	鹿児島銀行 鴨池支店	運転資金として	10
	鹿児島銀行 鴨池支店	運転資金として	10
	鹿児島銀行 川辺支店	事務局開設積立資産受取利息	146
定期預金	鹿児島銀行 川辺支店	退職給付引当資産受取利息	75
流動資産合計			39,627,208
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	鹿児島銀行 川辺支店	職員等の退職に備えたもの	4,218,989
事務局開設積立資産	鹿児島銀行 川辺支店	固定資産取得に備えたもの	14,713,751
特定資産合計			18,932,740
(3) その他の固定資産			
什器備品	パソコン等	公益目的保有財産であり、各事業及び管理業務で使用している	3,324,975
減価償却累計額(その他)			△ 3,030,070
電話加入権		公益目的保有財産であり、各事業及び管理業務で使用している	72,618
ソフトウェア		公益目的保有財産であり、各事業及び管理業務で使用している	510,400
その他の固定資産合計			877,923
固定資産合計			19,810,663
資産合計			59,437,871
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	会員	来期分の会費である	16,452,000
預り金	職員に係るもの	職員の社会保険料、源泉所得税の預りである	187,200
流動負債合計			16,639,200
2. 固定負債			
退職給付引当金			2,099,387
固定負債合計			2,099,387
負債合計			18,738,587
正味財産			40,699,284

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細書

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産					
退職給付引当資産	鹿児島銀行 川辺支店	3,818,989	400,000		4,218,989
事務局開設積立資産	鹿児島銀行 川辺支店	14,713,751			14,713,751
計		18,532,740	400,000	0	18,932,740

2 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当資産	2,099,387	0	0	0	2,099,387

公益社団法人鹿児島県理学療法士協会

令和4年度監査報告書

令和5年5月17日、事業ならびに会計監査を鹿児島県理学療法士協会事務局にて行いました。その結果、公益活動も可能と思われる範囲で行われ、事務局活動、理事会活動、各部活動及び学術活動等の記録・資料も適正に保存されていました。

会計監査につきましては、領収証及び会計簿他明細書を調査しました。その結果、領収書や通帳残高等会計は遺漏なく、適正に処理されていました。

但し、収支計算書の次期繰越金については、次年度以降の使用目的を検討していただきたい。

引き続き、活発な活動にて、理学療法の学術および技能の向上を推進し、県民の皆様の医療および保健の充実ならびに福祉の向上に貢献されることを願います。

以上、監査報告といたします。

令和5年5月17日

監事 竹田 寛

監事 村山 芳博



会長あいさつ



公益社団法人鹿児島県理学療法士協会

会長 平名 章 二

3年以上に及ぶ新型コロナ禍において拝命した1期目に引き続き2期目の会長職を拝命しました。アフターコロナ、当業界においてはウィズコロナかもしれませんが会員諸氏による自己研鑽、職業倫理の高揚と理学療法の学術及び技能の向上にて取り組む多くの事業をより深化させていきたいと考えています。

さて今期はアフターコロナに移行したことにより、一層の活発な協会活動が求められます。特に今年は県・市町村から新たに期待を寄せられるであろう保健医療・福祉・予防活動がより多くの会員諸氏により展開されることになると思っております。従前の「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」といった地域における種々の活動・職域の活動に加え、学域に関する事業が加わり当協会における全世代型の健康福祉支援活動元年となるものと胸膨らませております。学童期から理学療法に触れてもらい、子どもたちの健康福祉に寄与する役割を果たしていきたいと思っております。

さらに今年度は特別国民体育大会・特別全国障害者スポーツ大会、「燃ゆる感動かごしま国体」「燃ゆる感動かごしま大会」が開催され、県民はもとより国民にスポーツを通じた感動を与える事業が成功裏に終わることが必須となっています。当会はスポーツ活動支援委員会を立ち上げており、会員の手によって活動を展開することでレガシーとしていきたいと考えています。スポーツを通じた県民の健康意欲向上と子どもたちの学校保健・体育活動にも寄与して参りたいと思っております。

これらの活動をより効果的にするために益々のスキルアップが我々に望まれるところであります。まずもって学術・研修活動の推進と会員個々の研鑽により県民の健康福祉に寄与することを推進して参ります。そこで以下の点を重点課題とします。

重点課題

- (1) 新人理学療法士のサポートと生涯学習システムの円滑な運営
- (2) 学術研究、臨床力向上の機会拡大・推進
- (3) 地区保健医療・福祉・予防活動の充実・推進
- (4) スポーツ活動支援の推進
- (5) 学校保健・体育活動の支援推進
- (6) 行政各所との協働による職能活動の推進と拡大

なによりも県民の医療及び保健の充実並びに福祉の向上に寄与する団体として活動を展開して参りたい。そのために今期も新人も中堅もベテランも、すべての世代の会員諸氏の協力が必要です。苦難の時こそ皆で団結して活きましよう。

今期もよろしくお願ひします。

副会長・理事・部長あいさつ

副会長（兼生涯学習担当理事兼社会局長）



米盛病院

生駒 成亨

引き続き副会長を務めます。

今期は平名会長体制の2期目となり、新しい組織体制への変革を予定しています。会員の皆様が学術的にも職能的にも向上していただけるような協会運営を目的に、会長や事業を執行される理事・部長をしっかりとサポートし、次に繋がる組織体制を構築していきたいと考えます。

引き続き会員の皆様のご参加・ご協力を、よろしくお願い申し上げます。

副会長（兼学術局長兼学術担当理事）



鹿児島医療福祉専門学校

白尾 麻美

今期より副会長、学術局長、学術担当理事を拝命いたしました、鹿児島医療福祉専門学校の白尾です。学術部では今年度5回の研修会を企画していますが、対面研修

ではJPTAアプリを用いて履修登録を行っています。鹿児島市外に在住の方は、オンラインでの受講も可能です。ぜひご参加賜りますようお願い申し上げます。

生涯学習部長



鹿児島医療技術専門学校

横山 尚宏

引き続き生涯学習部の部長を拝命しました鹿児島医療技術専門学校の横山と申します。主に前期研修・後期研修に携わります。対面講習会だけではなく、離島僻地の

先生方も受講していただけるようにオンライン講習会を組み込んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

学術部長（兼研究助成委員会）



鹿児島大学

木山 良二

学術部と研究助成委員会を担当させていただきます木山良二です。学術部長としては、できるだけ新しい情報を会員に提供できるように務めたいと思っております。研究助成委員会としては、研究助成を通じて、会員の学術的あるいは臨床的な発展を支援できるように活動したいと考えています。

ご要望やご意見などありましたら、気軽に声をかけていただくと嬉しいです（またはkiyama@health.nop.kagoshima-u.ac.jpまで）。

何かと不手際があるかと思いますが、会員の皆様のお役に立てるように頑張りたいと考えております。ご協力をよろしくお願いいたします。

学術部長（兼学術資料部長）



鹿児島大学

川田 将之

昨年度より引き続き鹿児島県理学療法士協会学術部長を務めさせていただきます川田将之と申します。昨年度まで新型コロナウイルス感染症の影響で、オンライン研修会を実施しておりましたが、今年度より対面形式の研修会を再開しました。皆様のご協力で現在のところ滞りなく開催を継続できております。今年度もスムーズな運営が行えるように努めて参ります。今後も協会の皆様の知識向上に貢献できるよう研修会を開催していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

学術部長（兼学術資料部長）



介護老人保健施設きりしま

福森 愛美

この度学術部長・学術資料部長を拝命いたしました。責任ある役割を担えることを光栄に思っています。会員の皆様がより充実した学術活動を行えるよう努めてまいりますので、ご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

専門領域研究担当理事（兼鹿児島奄美地区担当理事）



介護老人保健施設 グレースホーム

岩森 俊

今期より専門領域研究部と鹿児島・奄美地区の理事を担当させていただきますことになりました岩森です。今まで県士会では渉外部、公益事業部の部長として活動経験がありますが、今回この2部の理事を任せていただき責任感をひしひしと感じております。前任の先生方が築いてきたものを尊重しながら、専門領域研究部では「コンセプト」、鹿児島・奄美地区では「ネットワーク」を大切にしながら努めて参る所存です。どうぞよろしくお願い致します。

専門領域研究部 部長



鹿児島大学病院

中尾 周平

今年度より専門領域研究部の部長を拝命いたしました鹿児島大学病院の中尾です。本研究部発足時から循環器系の研修会を担当させていただいておりました。今後は、理事ならびに他部長、8つの研修会担当（神経系、運

動器系、循環器系、呼吸器系、生活環境系、小児系、障害者スポーツ系、アスリート系)の先生方と協力しながら、会員の皆様には有益な研修会を企画・運営していきたいと思っております。尚、対面が叶う状況であれば座学だけではなく、臨床に則した実技を多く取り入れていく予定ですので、奮ってご参加いただければと思います。

専門領域研究部 部長



医療法人 平和会
戸田 博之

今年度より、専門領域研究部長を務めさせていただきましたことになりました戸田博之です。昨年までは生活環境支援系研修会を担当しておりました。専門領域研究部での活動では、先輩方や協会の皆様からたくさんのお話を学ぶことができました。その経験を活かしながら、協会の皆様の日々の臨床に役立つ研修会の企画運営をしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

専門領域研究部 部長



慈愛会いづろ今村病院
西 洋樹

今年度より専門領域研究部に初めて所属すると同時に部長の役を務めさせていただきますこととなりました。これまで数多く専門領域研修会に参加しましたが、いつも魅力にあふれ現場で活用できる内容を提供頂きました。理事の岩森先生、研究部先任の中尾・戸田両部長のご指導や各領域の先生方のご協力を頂きながら、今後も多くの会員皆様にとって実り多い研修会を企画できればと思います。たくさんのご参加をよろしくお願いいたします。

渉外担当理事(兼保険担当理事)



きりしま内科リハビリクリニック
湯地 英充

今年度より渉外担当理事及び保険担当理事の任を拝命致しました湯地と申します。

理事としては2期目になります。1期目の広報・調査担当理事では皆様の意見に耳を傾けられるような理事になりたいと思いついて活動して参りました。2期目に関してはそれに加えて情報発信というところも重要になるものと思っております。臨床場面において会員の活動が安心して活発に行えるよう正確な情報を発信して参ります。至らない点が多々あるかと思いますが皆様、よろしくご協力させていただきます。

渉外部長



デイサービス HOMEBASE
小野 恵

今期より渉外部長を拝命いたしました小野恵です。これまでの渉外部の活動を引き継ぐとともに、職域拡大や対外的な事項に関しても、会員の皆様へ有益な活動が行なっていけるよう努めてまいります。皆様のお力添えをいただきながら、微力ながらも尽力させていただきたく存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局長(兼福利厚生担当理事)



鹿児島県理学療法士協会
東 條 夏也

今回の選挙にてアフターコロナの中、2年間の新執行体制の中に事務・福利厚生担当理事として就任させていただきました。

県協会の事業や研修会など会員の皆様には、可能な限り会員の皆様のお手伝いさせていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。

総務部長



鹿児島県理学療法士協会
上 村 明子

今期も引き続き総務部長を務めさせていただきます、上村(かみむら)です。

主に、会員の異動手続き等含めた会員管理や郵送物の発行、ホームページ管理などを担当しております。また、日本理学療法士協会や他部門との連携、総会や理事会等の支援などスムーズな協会運営に貢献できるよう努めて参ります。今年度より対面開催も少しずつ増えてきて、これまでとは違った会の活動ができることを願っています。ぜひ会員のみなさまのニーズやご意見をお気軽にお寄せください。

財務部長



鹿児島島医療技術専門学校
木下 恵美

前年度に引き続き財務部の部長を拝命いたしました鹿児島島医療技術専門学校の木下と申します。

会員の皆様に安心してご活躍していただけますよう、スムーズな協会運営に貢献できるように努めて参りたいと思っております。何卒よろしくお願いいたします。

福利厚生部長

田上記念病院

川上 剛

福利厚生部長を担当させていただきます川上剛と申します。

福利厚生部は会員の皆様の福利厚生に関する活動を推進し、親和を図る活動を実施しております。

各年代層を通して参加しやすく、皆様にご満足いただけるような企画を計画しております。昨年度大変好評でした「写真コンテスト」やライフサポート事業を計画中です。福利厚生部で企画して欲しいことがありましたら、お気軽にご連絡ください。微力ながら会員の皆様のお役に立てるよう努力して参りますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

広報・調査担当理事

鹿児島大学病院

弓場 裕之

今季より広報・調査担当理事に就任致しました弓場裕之と申します。初回就任から前期まで鹿児島・奄美担当理事を担当しておりましたが、今回、初めてこの部局の担当となりました。

担当は広報部、調査資料部、編集部の3部局になり、全く未経験の部局になります。しかし、目的としては、県土会員の皆様への手助けとなることが第一義であると考えておりますので、これまで業務実績を培ってこられた部長、部員の皆様のお力添えをいただきながら、尽力して参りたい所存です。

また、この場をお借りしまして、前担当でお世話になりました、鹿児島・奄美地区の地区長ならびにスタッフの皆様へ厚く御礼を申し上げます。加えまして、これからお世話になります、広報部、調査・資料部、編集部の部長、部員の皆様、どうかよろしくお願い致します。

編集部長

加治木温泉病院

原口 拓人

引き続き編集部を担当させていただきます原口と申します。今年度はニュースを年4回、冊子版として会員の皆様のお手元へお届けできればと思っております。有益な情報を発信できるよう、取り組んで参りたいと思います。

また、協会ニュースに掲載したい記事等ありましたら、気軽にご相談下さい。よろしくお願い致します。

E-mail : rihabiri@gyokusyukai.com

広報部長（兼調査資料部長）

豊島病院

福留 史剛

広報部・調査資料部を兼務させていただきます。

会員の皆様への情報発信や現状の周知、協会外では「理学療法士」と県民の皆様や行政・県内各種団体の方々との信頼関係を構築できるようイベントなどを通じて活動していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

引き続き、鹿児島県理学療法士協会の公式LINEアカウントへのお友達登録もよろしくお願い致します。

福祉担当理事（高齢者福祉担当）

恒心会 おぐら病院

福田 秀文

引き続き、福祉担当理事（高齢者福祉部）を拝命しました恒心会おぐら病院の福田です。昨年、一昨年はコロナ禍で対面および接触を伴う研修会が行えず、リモートを使った研修会を行いました。

部員の皆さんも、事前にデモンストレーションビデオを撮るなど、少しでもわかりやすいようにと工夫をしてくれました。今年度から状況が許せば対面および接触を伴う研修会も可能になりそうです。今後も自分たちに何ができるかを考えながらやっていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

地域局長（兼福祉担当理事兼北薩・南薩担当理事）

菊野病院

山中 純

今期も引き続き、北薩・南薩地区担当理事と福祉担当理事を務めさせていただくことになりました。

これまで同様に地区活動の活性化を図るとともに、近年活動の機会が増加している小児領域での活動についても検討していきたいと思っております。ご意見やご要望等ありましたら、お気軽にご連絡ください。

地区長や部長のご協力を頂きながら、会員の皆様と一緒に盛り上げていきたいと思っておりますので、ご協力お願いいたします。

福祉部長（障がい児者福祉担当）

菊野病院

小山 尚宏

前期に引き続き、障がい児・者福祉部の部長を務めさせていただきます。

県民の健康発達、健康増進のサポートを目的とした年2回の発達サポート研修会の企画・開催を活動の柱としております。

コロナ禍で研修会形式をオンライン研修会に切り替えたことで、県内各地からの参加（離島からの参加も多い）をいただけており、今年度からは対面とオンラインのハイブリッド形式での研修会を企画・開催しています。

県内全域の子どもたち、その家族・関係者に寄り添いながら、理学療法士に求められているニーズを常に考え、発達サポート研修会を通して県民に還元していきたいと思えます。

よろしくお願いいたします。

福祉部長（高齢者福祉担当）



霧島杉安病院
阿多昌幸

今回、前任期に引き続き高齢者福祉部部長に任命されました霧島杉安病院の阿多昌幸です。

高齢者福祉部の活動としては、県民に対して実技を含めた高齢者対応の情報提供と社会福祉協議会や外部依頼講習会を開催しています。今年度も部員一同それぞれの役割を務めていきます。よろしくお願いいたします。

公益事業担当理事



介護老人保健施設
ラ・フォンテいずみ
福永裕樹

この度、公益事業担当理事を任命しました福永裕樹と申します。私は、これまでの協会活動から、多くの先生方よりご指導を頂き、協会での交流や繋がりが大変重要であると感じています。これまでの経験を活かし、定款にあります公益事業推進に関し、医療関係団体等、他団体との交流促進に関する事項を通して、より会員と協会との距離が身近に感じられる学術、職能団体として、円滑な組織運営が行えるよう尽力していく所存です。よろしくお願いいたします。

公益事業部長



いづろ今村病院
土井 敦

本年度、公益事業部部長を任命しました、土井と申します。

公益事業部も理事、部長が刷新され、皆様にご迷惑おかけしないか不安もありますが、前理事の神田先生、前部長の岩森先生にアドバイスいただきながら、福永新理事のもと楽しく活動できればとワクワクしています。

そんな公益事業部は、一緒に活動してくれる部員を大募集中です。理学療法士として世の中に役立つことがしたい、地域に貢献したい等の想いを一緒に形にしていきたい。気軽にお声かけください！

医療保険部長



クオラリハビリテーション病院あいら
赤崎知子

この度、医療保険部長を任命致しましたクオラリハビリテーション病院あいらの赤崎と申します。

皆様ご存じのように、来年度はいよいよトリプル改定となっておりますので、迅速かつ確かな情報収集・情報提供に努めて参りたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

介護保険部長



アンダンテ伊集院
宮 雅紀

今回、介護保険部長に任命されたアンダンテ伊集院の宮雅紀です。6月、国の骨太方針が閣議決定され介護ロボット、ICT、協働化などキーワードが示されました。

また令和6年度改定に向け社会保障審議会介護保険部会が継続的に開催されています。時代の流れとともに大きく変化している今、変化の波をいち早くキャッチし、現場に落とし込める情報を迅速かつ正確に発信していきたいと思えます。

鹿児島・奄美地区担当理事



厚地リハビリテーション病院
東 幸太

今期より鹿児島・奄美地区担当理事をさせて頂くこととなりました。これまでは鹿児島地区長として約10年経験させて頂き鹿児島市（地区）の問題や課題など色々と感じておりました。他の地区とは会員数も圧倒的に異なり多くの会員が在籍しておりより活発な協会活動が学術的にも活動的にも可能性を秘めた地区ではないかと思えます。奄美地区においてもこれまでとは異なるWeb活用した活動により島間の距離も少し近くなり、そういった意味ではよい環境が出来上がったと思えます。半面、今後は対面での活動を少しずつ取り戻し本来の技術面の研修等も行えればと考えております。新しい考え方をもちて良い地区活動が行えるように会員の皆様と共に一緒に頑張っていきたいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。

鹿児島地区長



八反丸リハビリテーション病院
五十峯 淳一

鹿児島地区部長を務めさせていただきます、八反丸リハビリテーション病院の五十峯淳一です。

今年度より鹿児島地区では、北部、中央、南部の3つのエリアに地区長を配置し、地区活動の活発化と会員の皆様のニ

ーズにより応えられる体制といたしました。3人の地区長の先生方と協力して鹿児島地区が円滑に活動できるよう支援していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

鹿児島地区長



鹿児島医療技術専門学校

川元 大 輔

今回、鹿児島地区長を拝命しました、鹿児島医療技術専門学校の川元と言います。

研修会や症例報告等を通じて、県士会の発展に寄与できるよう努力していく所存です。どうぞ宜しくお願い致します。

鹿児島地区長



米盛病院

久 米 康 隆

この度、鹿児島中央地区長を拝命致しました米盛病院の久米康隆と申します。

担当理事の先生方や各担当地区長との連携とご協力をいただきながら務めさせていただきます。研修会や症例検討会の開催を通じ、地区会員の皆様が学べて情報収集・共有できる取り組みができたかと考えています。微力ながら尽力させていただき所存です。

どうぞよろしくお願い致します。

鹿児島地区長



天陽会中央クリニック

上 川 毅 康

天陽会中央クリニックの 上川毅康と申します。

今回は公益事業部の部員として介護予防シンポジウム等の運営等に携わせて頂きました。今回、鹿児島地区長の大役を仰せつかり、身が引き締まる思いです。微力ながら協会運営及び地域の会員の皆様に貢献できるよう頑張っております。

今後ともよろしくお願い致します。

奄美地区長



奄美市笠利国民健康保険診療所

當 田 直 哉

引き続き奄美地区長をさせていただきますことになりました。當田直哉（とうだ なおや）と申します。長かったコロナ禍も徐々に収束をみせてまいりました。ピンチであったコロナ禍も我々奄美地区各島々の協会員には、距離問題の解消など良い点もありました。今後は、鹿児島地区等の研修会においても、離島からなかなか参加が出来ない会員のために、対面式とリモート式併用のハイブリット開催での研修会も多く予定されています。皆様のご参加をお待ちしております。

地域の方々の為、社会の為に、我々が提供できる事の質を高め、より良い地域貢献・社会貢献を実現ができるため活動していけたらと考えております。登録理学療法士制度もスタートし、色々な面で自己研鑽の重要性がより高くなってきています。奄美大島本島だけでなく、離島を含めた奄美地区全てで盛り上げていけたらと考えております。今後とも宜しくお願いいたします。

南薩・北薩地区担当理事



川内市医師会立市民病院

長 嶺 英 博

引き続き南薩・北薩地区担当理事を拝命致しました長嶺です。これまで通り主に北薩地区を中心に活動を行って参ります。コロナ禍を経て、やっと少しずつ顔を突き

合わせての関係づくりが再構築していけるのではないかと期待しております。会員の皆様には県内各地域の活性化のために、よりいっそうのご協力とご支援をお願い致します。

南薩地区長



南薩ケアほすびたる

木 場 涼 介

今回、南薩地区長に就任いたしました木場涼介と申します。前任の馬場病院 原野先生から引き継いだこの大切な役割に感謝の気持ちと責任を持ち、南薩地区の更なる

発展と向上を目指してまいります。南薩地区の会員の皆さまとの協力と連携を大切にし、地域の方々へより良い理学療法を提供できるようにするには、どのようにすればよいかを一緒に考えていければと思います。一人ひとりの理学療法士の成長を支援できるよう努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

北薩地区長



オラリハビリテーション病院

鈴 東 伸 洋

引き続き、北薩地区長を務めさせていただきますことになりました。会員の皆様、宜しくお願い致します。

混沌としたコロナ禍が収束に向かい始めました。この約4年間に、私たちが築き上げてきた会員との横の繋がりが細くなってしまったように感じます。地区リーダーを中心とした北薩地区代表者委員会の皆さんと一緒に、北薩地区内の多くの会員の方々との理学療法士同士の信頼と連携という力をもう一度築いていきたいと思っております。

施設間や地域間での横の繋がりを大切にし、今後ますます“顔の見える北薩地区”にしていきたいと考えています。

これからもよろしくお願い致します。

始良・大隅地区担当理事

鹿児島第一医療リハビリ専門学校
神田 勝利

今年度より始良地区担当理事を務めさせていただきます鹿児島第一医療リハビリ専門学校の神田勝利と申します。前任の理事・部長より引継ぎをいただき、今年度より新地区長また新たな部員の先生方と一緒により良い地区活動ができるように努めてまいります。今まで始良地区では多くの研修会開催と症例検討会を開催・実施しております。今年度も会員の皆様に興味（各領域や国体等）や臨床に役立つ研修会計画や症例検討会を計画してまいります。また、今年度は第37回鹿児島県理学療法士学会は霧島市で開催予定しております。今回、私が学会会長を務めさせていただきます、令和6年2月23日（金：祝日）に霧島市にある第一幼児教育短期大学を会場として、ハイブリッド（対面・オンライン）形式での開催に向けて準備を進めているところです。約5年ぶりでの対面開催です。多くの先生方のご参加お待ちしております。最後に会員の皆様、各地区担当理事や各地区長と連携を図りながら活動してまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

始良・大隅地区担当理事

恒心会おぐら病院
榎畑 純二

引き続き大隅地区担当理事を拝命いたしました恒心会おぐら病院の榎畑です。生涯教育システムが変更され、その対応に戸惑われた会員の先生方も多かったと思います。大隅地区では会員のメリットに繋がるように研修会を増やし対応してきました。また本年度以降、後期研修の会員が増えることが考えられるため、症例検討会の機会を適宜設けていきたいと思っております。さて、政府の「骨太方針」に「リハビリテーション、栄養管理及び口腔管理の連携・推進を図る」の文言が掲載されました。ますますリハ職の活用がなされていくと思っております。ぜひ登録理学療法士、地域・介護予防推進リーダーの取得をお願いします。

大隅地区地区内病院・施設の横のつながりを大切にして、地区活動発展、理学療法士の地位向上に寄与できればと考えております。何卒宜しくお願いします。

始良地区長

霧島市立医師会医療センター
福榮 竜也

始良地区の地区長を拝命いたしました、霧島市立医師会医療センターの福榮竜也（ふくえい たつや）と申します。これまでに諸先輩方のご尽力により、私たちは大きな安心感を教授してまいりました。次は私が皆様方にその安心感を還元しなければなりません。その立場となる

ことを考えますと、大変光栄であると同時に、身の引き締まる思いであります。私は当地区の理学療法士として、病院で勤務しておりますが、地域住民に向けた健康増進活動や、学術活動に邁進してまいりました。様々な理学療法士が、それぞれの個性を生かし、積極的な分野に視野を広げられる組織作りを目指してまいります。まだまだ若輩者ではございますが、これからもご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

大隅地区長

恒心会おぐら病院
永瀆 良太

今年度も大隅地区長の継承を拝命いたしました、恒心会おぐら病院 永瀆です。

今日までの2年間、コロナ真只中での活動でありましたが、大隅各地区リーダーの方々のご協力もあり、なんとか運営できたと感じております。

5類分類となり、活動方法も変化がでてくると思いますが、大隅地区会員の皆様に少しでも身になる運営活動を考え進めてまいります。

選挙管理委員会 委員長

霧島桜ヶ丘病院
前田 哲

今期も選挙管理委員を務めさせていただきます。

若輩者にあり、会員の皆様へはご迷惑をお掛けすると思っておりますが、精一杯努めてまいります。

皆様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。

規約審議委員会 委員長

ザ王病院
弥栄 博文

この度、規約審議委員会の委員長を拝命いたしました。

時代の変化とともに理学療法士の働き方も変化してきています。

このような変化の中で鹿児島県理学療法士協会の活動が今まで以上に円滑に進められますように新たな組織体制（組織図）を検討し、それに伴う職務権限規程などの規約を見直していきたいと考えております。

規約とは、組織の定め「ルール」です。組織が機能するために、円滑な組織運営ができるようにこれからも見直していきますので、よろしくお願いいたします。

組織運営等検討委員会**坂本 一路**

昨年度に続き委員会を担当させていただきます。

士会役員も少しずつ担当者が交代し、若い会員が積極的に参加してきている状況の中、JPTAの方向性も変化し、士会も対応できる体制を構築する必要があると考えます。士会員ファーストを基本に県民に対してサービス提供ができる体制を会員個々の意見を反映させながら検討する手助けをさせていただきますので、よろしく願いいたします。

理学療法かごしま編集委員長**平和会訪問看護ステーション紫原
金谷 親好**

昨年度に引き続き、学術誌「理学療法かごしま」の編集委員長を拝命いたしました金谷親好です。

学術誌では編集委員と協力して、会員の皆様の臨床や学術活動に対して有益な情報提供の場の一助となるよう、また当協会の卒後教育、臨床、研究を含めた総合的な能力の向上に繋がるよう努めて参りたいと思っております。会員の皆様の積極的なご投稿を宜しくお願い致します。

スポーツ活動支援委員会

鹿児島大学

大渡 昭彦

スポーツ活動支援委員会の委員長を拝命した鹿児島大学の大渡です。昨年までは専門領域研修部の理事を担当しておりましたが、

2023年10月に行われる予定の、全国障がい者スポーツ大会（燃ゆる感動かごしま大会）と国民体育大会（燃ゆる感動かごしま国体）へのサポートをメインにスポーツ活動支援委員会を担当することになりました。私は実際の現場活動は力不足であり参加できませんが、障がい者スポーツ大会は鹿児島大学の松田史代先生が大会全体の運営にかかわる主軸のような活躍で頑張ってください。また、国民体育大会はちゅうざん整形外科の牛ノ濱政喜先生と今村総合病院スポーツ整形外科の轟原与織先生が中心となって活動を支援いただいております。

他県のスポーツ担当者の話を伺っても、国体を契機にスポーツ関連の活動が増えたとおっしゃる方が非常に多くいらっしゃいました。障がい者スポーツに関しては松田先生が中心となり他団体との関係性も他県より良好であると思いますが、国体を通して高校野球連盟や鹿児島市、出水市との関係性は今後のスポーツ分野の活動に大きく役立つのではないかと考えています。

今後の活動に関しましては、会員の皆様のご意見を伺いながら方向性を定めていきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。ご意見、ご質問のある方は下記へご連絡ください。できるだけメールでご連絡をしていただくと助かります。今後とも宜しくお願いいたします。

鹿児島大学医学部保健学科 理学療法学専攻

大渡 昭彦

〒890-8506

鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1

TEL&FAX 099-275-6804

E-mail: owatash@health.nop.kagoshima-u.ac.jp

監事

今村総合病院

村山 芳博

今回、4期目の監事を拝命させて頂く、今村総合病院の村山です。

2700人余りの理学療法士という専門家が集まる学術・職能団体として、また来年度はトリプル改定が予定されており、協会の果たすべき役割は益々大きくなります。

その執行部の活動を、微力ながら確認し、且つ、支えていけたらと考えております。

何卒よろしくお願い申し上げます。

監事

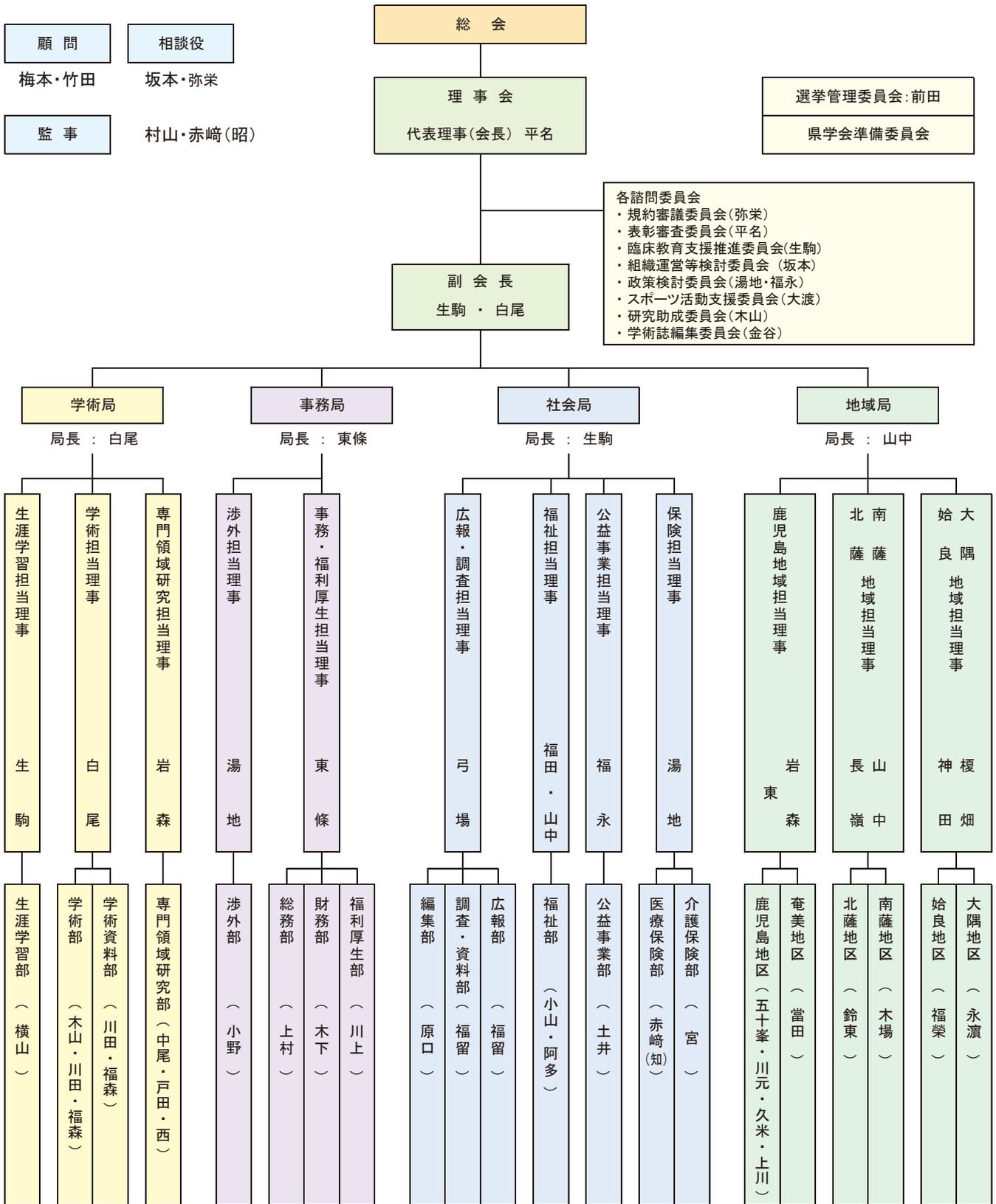
鹿児島県理学療法士連盟

赤崎 昭朗

今年度より監事になりました赤崎です。

公益法人としてコンプライアンスを遵守し理事の業務執行状況や会計状況の情報共有と透明性の確立に役立てられるよう微力ではありますが、監事としての職責を全うしたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

公益社団法人 鹿児島県理学療法士協会 組織図



2022年度 一般社団法人鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会 事業報告

【 事業の部 】

1. 地域リハビリテーション活動研修会

① 地域ケア会議推進リーダー導入研修会

「地域包括ケアシステムについて」「地域ケア会議に求められる理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割」「模擬会議の実際と心構え（グループ討議）

Zoomによるオンライン講座

10月22日 参加者20名 (PT 9・OT 8・ST 3)

12月26日 参加者15名 (PT11・OT 2・ST 2)

② 介護予防推進リーダー養成導入研修会

「介護予防事業に関連する行政組織・関連団体と福祉計画」「介護予防事業における理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の展開方法」

Zoomによるオンライン講座

10月23日 参加者21名 (PT 9・OT10・ST 3)

12月26日 参加者13名 (PT 8・OT 3・ST 2)

2. 訪問リハ研修会

実務者研修 講師 7名 Zoomによるオンライン講座

10月29日 参加者19名 (PT14・OT 3・ST 2)

ステップアップ研修会 Zoomによるオンライン講座

運動による認知症予防の理論と実践 鹿児島大学 牧迫飛雄馬PT

認知症高齢者が住み馴れた地域で継続して暮らすための療法士の視点と実際

鹿児島大学 田平隆行OT

3月4日 参加者51名 (PT35・OT14・ST 2)

3. 人材派遣・相談事業

イオンのわくわくウォーキングの講師派遣 12回

鹿児島市地域リハビリテーション支援事業

お達者クラブ等 233回 (PT167・OT41・ST25) 参加者3441人

よかよか元気クラブ 671回 (PT1589・OT82) 参加者6880人

ボランティア等への講師 8回 (PT 8)

個別相談 2回 (PT 2)

鹿児島市介護予防地域ケア会議 3地区 4回 (PT12・OT12・ST12)

鹿屋市地域リハビリテーション活動支援事業 22回 (PT21・OT 1) 参加者619人

始良市地域ケア個別会議 (PT 3・OT 3・ST 3) 委員推薦

鹿屋志認知症初期集中支援チーム検討委員会委員推薦 OT 1名

鹿児島市高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施推進協議会 委員推薦 PT 1・OT 1

鹿児島県在宅医療・介護連携推進協議会 委員推薦

鹿児島県循環器病対策推進協議会 委員推薦

4. 災害リハに関する事業

福祉避難所の概要説明及び意見交換会 1回

鹿児島市災害時の情報伝達訓練 1回

5. 鹿児島県リハビリテーション専門職派遣事業

各市町村へのPT・OT・STの派遣事業 9回 (PT 4・OT 4・ST 1)

【 管理の部 】

会員数 4,086名 (PT 2,393名・OT 1,137名・ST 566名) 2023年3月31日現在

公文書の発送

理事会・総会の開催

収支報告書の作製

一般社団法人鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会
令和4年度収支決算書

自：令和4年4月1日 至：令和5年3月31日

(単位：円)

科 目	予算現額	決算額	差 異	備 考
I 収入の部				
1 受取負担金				
士会負担金				
2 受取会費				
会費	425,300	425,300	0	¥100*4,253名 (PT2,581・OT1,140・ST532)
3 事業収益				
委託事業収益	8,200,000	10,232,962	2,032,962	地域リハビリテーション支援事業(鹿児島市・鹿屋市)・イオンわくわくウォーキング教室
研修会事業収益	600,000	266,000	△ 334,000	(未収金)県リハ専門職派遣事業 訪問リハ、リーダー研修会
4 雑収益				
受取利息	100	101	1	預金利息等
当期収入合計(A)	9,225,400	10,924,363	1,698,963	
前期繰越収支差額	8,968,141	8,968,141	0	
収入合計(B)	18,193,541	19,892,504	1,698,963	
II 支出の部				
諸謝金	7,050,000	8,402,599	1,352,599	
会議費	300,000	248,150	△ 51,850	口当等
賃借料	400,000	240,000	△ 160,000	事務所賃借料 20,000/月
通信運搬費	280,000	164,537	△ 115,463	
ソフトウェア	100,000		△ 100,000	
消耗什器備品費	169,000		△ 169,000	
印刷製本費	130,000		△ 130,000	
消耗品費	130,000	4,016	△ 125,984	
旅費交通費	230,000	283,560	53,560	
人件費	3,000,000	1,724,292	△ 1,275,708	
委託費	464,640	503,360	38,720	リハケアそらぞら等
負担金	200,000	100,000	△ 100,000	鹿児島県災害時リハビリテーション推進協議会
渉外費	50,000		△ 50,000	
福利厚生費	50,000		△ 50,000	
什器備品費	100,000		△ 100,000	
修繕費	50,000	46,200	△ 3,800	HP管理更新料
光熱水費	30,000		△ 30,000	
租税公課	100,000	73,400	△ 26,600	市民税、県民税、収入印紙
支払手数料	200,000	51,920	△ 148,080	振込手数料
支出合計	13,033,640	11,842,034		
3 予備費	5,159,901	0	5,159,901	
当期支出合計(C)	18,193,541	11,842,034	5,159,901	
当期収支差額(A)-(C)	△ 8,968,141	△ 917,671	8,050,470	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	8,050,470	8,050,470	

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,498,958	8,548,969	△ 1,050,011
未収金(リハビリテーション専門職)	551,512	419,172	132,340
流動資産合計	8,050,470	8,968,141	△ 917,671
2. 固定資産			
(1)基本財産			
	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2)特定資産			
	0	0	0
特定資産合計	0	0	0
(3)その他固定資産			
有形固定資産	0	0	0
什器備品	3	3	0
無形固定資産	2	2	0
その他固定資産合計	5	5	0
固定資産合計	5	5	0
資産合計	8,050,475	8,968,146	△ 917,671
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金		0	0
前受金	0	0	0
預り金	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	8,050,475	8,968,146	△ 917,671
負債及び正味財産合計額	8,050,475	8,968,146	△ 917,671

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	昨年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息			
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息			
③ 受取負担金			
士会負担金			0
④ 受取会費			
会費	425,300	438,400	△ 13,100
⑤ 事業収益			
委託事業収益	10,232,962	8,197,532	2,035,430
研修会事業収益	266,000	266,000	0
⑥ 雑収益			
受取利息	101	100	1
経常収益計	10,924,363	8,902,032	2,022,331
(2) 経常費用			
諸謝金	8,402,599	6,844,528	
会議費	248,150	278,640	△ 30,490
賃借料	240,000	240,000	0
通信運搬費	164,537	157,539	6,998
ソフトウェア			0
消耗什器備品費		31,978	△ 31,978
印刷製本費			0
消耗品費	4,016	18,347	
旅費交通費	283,560	114,190	169,370
人件費	1,724,292	166,250	1,558,042
委託費	503,360	406,560	96,800
負担金	100,000	100,000	0
渉外費			0
福利厚生費		16,200	
什器備品費			0
修繕費	46,200	46,200	0
光熱水費			0
租税公課	73,400	72,850	550
支払手数料	51,920	78,409	△ 26,489
減価償却費	0	55,140	△ 55,140
経常費用計	11,842,034	8,626,831	3,215,203
評価損益等調整前登記経常増減額	△ 917,671	275,201	△ 1,192,872
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益計	0	0	0
当期経常増減額	△ 917,671	275,201	△ 1,192,872
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 917,671	275,201	△ 1,192,872
一般正味財産期首残高	8,968,146	8,692,945	275,201
一般正味財産期末残高	8,050,475	8,968,146	△ 917,671
II 指定正味財産増減の部			
① 受取寄附金			
受取寄附金	0	0	0
当期正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	8,050,475	8,968,146	△ 917,671

財 産 目 録

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金額
1. 流動資産			
現金	鹿児島県POS連絡協議	運転資金	12,880
預金	鹿児島銀行県庁支店	運転資金	7,019,977
	鹿児島銀行県庁支店	研修参加費徴収	466,101
未収金		リハビリテーション専門職派遣事業	551,512
流動資産合計			8,050,470
2. 固定資産			
(1)基本財産			
(2)特定資産			
(3)その他固定資産			
有形固定資産			
什器備品	パソコン2台・エアコン	各事業及び管理業務で使用している共有財産である。	3
無形固定資産	ソフトウェア	ホームページ作成ソフト	2
固定資産合計			5
資産合計			8,050,475
1. 流動負債			
未払金			0
前受金			
預り金			
流動負債合計			0
2. 固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			0
正味財産			8,050,475

一般社団法人 鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
連絡協議会

令和 4 年度監査報告書

令和 5 年 6 月 19 日・20 日、事業ならびに会計監査を一般社団法人 鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会事務局にて行いました。その結果、活動も活発に行われ、事務局活動、理事会活動の記録・資料も適正に保存されていました。

会計監査につきましては、領収証及び会計簿他明細書を調査しました。その結果、領収書や通帳残高等会計は遺漏なく、適正に処理されていました。

次年度も引き続き、活発な活動にて、貢献されることを願います。

以上、監査報告といたします。

令和 5 年 6 月 20 日

監事 村山 芳博

監事 松尾 康弘

監事 安藤 千恵



2023年度 一般社団法人鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会 事業計画

【事業の部】

1. 地域リハビリテーション活動研修会

- ① 地域ケア会議推進リーダー導入研修会
「地域包括ケアシステムについて」「地域ケア会議に求められる理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割」「模擬会議の実際と心構え（グループ討議）」
- ② 介護予防推進リーダー養成導入研修会
「介護予防事業に関連する行政組織・関連団体と福祉計画」「介護予防事業における理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の展開方法」

2. 訪問リハ研修会

- ① 実務者研修会
- ② ステップアップ研修会

3. 人材派遣・相談事業

イオンのわくわくウォーキングの講師派遣
鹿児島市地域リハビリテーション支援事業
お達者クラブ等
よかよか元気クラブ
ボランティア等への講師
個別相談
鹿児島市介護予防地域ケア会議 3地区
鹿屋市地域リハビリテーション活動支援事業
始良市地域ケア個別会議

4. 災害リハに関する事業

鹿児島市災害時の情報伝達訓練 1回

5. 鹿児島県リハビリテーション専門職派遣事業

【管理の部】

会員数管理
公文書の発送
理事会・総会の開催
収支報告書の作製

一般社団法人鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会

令和5年度収支予算書(案)

自;令和5年4月1日

至:令和6年3月31日

	予算額	昨年度予算額	備 考
I 収入の部			
1 受取負担金			
士会負担金			
2 受取会費			
会費	408,600	425,300	¥100*4,086名 (PT2393名・OT1137・ST556)
3 事業収益			
委託事業収益	10,500,000	8,200,000	鹿児島市地域リハ支援事業 県リハ専門職派遣事業 イオンわくわくウォーキング教室
研修会事業収益	600,000	600,000	訪問リハ・リーダー研修会各2回ずつ、ステップアップ研修会6回開催
4 雑収益			
受取利息	150	100	預金利息等
当期収入合計(A)	11,508,750	9,225,400	
前期繰越収支差額	8,968,141	8,968,141	
収入合計(B)	20,476,891	18,193,541	
II 支出の部			
1 事業費			
諸謝金	9,030,000	7,050,000	
会議費	300,000	300,000	日当等
賃借料	400,000	400,000	家賃20,000/月 会場費
通信運搬費	280,000	280,000	電話・鹿銀FB、発送費
ソフトウェア	100,000	100,000	会計ソフト
消耗什器備品費	200,000	169,000	
印刷製本費	130,000	130,000	資料印刷代
消耗品費	130,000	130,000	
旅費交通費	300,000	230,000	
人件費	3,000,000	3,000,000	
委託費	500,000	464,640	リハケアそうぞう 等
負担金	200,000	200,000	災害時リハビリテーション推進協議会
渉外費	50,000	50,000	
福利厚生費	50,000	50,000	
什器備品費	100,000	100,000	
修繕費	100,000	50,000	HP管理更新料
光熱水費	30,000	30,000	
租税公課	100,000	100,000	市民税、県民税、収入印紙
支払手数料	200,000	200,000	振込手数料
支出合計	15,200,000	13,033,640	
3 予備費	5,276,891	5,159,901	
当期支出合計(C)	20,476,891	18,193,541	
	△ 8,968,141	△ 8,968,141	
次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	

第36回鹿児島県理学療法士学会 受賞者紹介

2023年2月19日に開催された、第36回鹿児島県理学療法士学会の受賞者が決定しました。表彰された先生方のコメントを以下に紹介します。

学会長受賞 鹿児島大学病院 木佐貫 勲 先生

演題名：植込み型左室補助人工心臓症例に対しての理学療法の経験

この度は、学会長賞という名誉ある賞を頂き大変光栄に思います。また、ご協力を頂いた患者様並びに、指導して下さいました医師や諸先輩方、自分を支えてくれたリハビリテーション部のスタッフの皆様には感謝を申し上げます。

今、内科的治療でも生命維持困難な重症心不全患者に対する治療手段として、補助人工心臓(VAD)が普及しつつあります。その中の一つに植込型左室補助人工心臓(LVAD)があります。LVAD植込み患者に対して、心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドラインでも運動療法は推奨されています。今回、LVAD植込み患者が緊急入院し、入院中にリスク管理を個別に行いながら運動療法を実施し、多職種連携を行ったことで、自宅退院へ繋げることが出来た症例について報告をしました。

結果として、主治医による多職種への教育、注意点の喚起、定期的な多職種カンファレンスを行った事で、情報を適宜共有でき回復へと向い、リスクに留意し運動負荷を病態に合わせ漸増する事で、病状改善、身体機能改善が得られ自宅退院へと繋げることができたと考えられました。

当院はVAD管理施設ではなく、理学療法士としては無知な場面もあったことから、多職種間での情報共有を密に行い、ガイドライン、エビデンスを参考にLVAD患者に対する理学療法の知識を深めることができました。今後、補助人工心臓(VAD)の普及により、このような患者層に対する理学療法のニーズも高まる事が予想されます。日々の臨床の中で、真摯に患者に向き合い、治療および研究を行うことで、循環器分野の理学療法に貢献できるように今後も精進して参ります。

授賞式を2023年6月24日代議員総会前に実施しました。

授賞式様子

左側 木佐貫 勲 先生



学会奨励賞受賞 鹿児島大学大学院保健学研究科 谷 明 先生

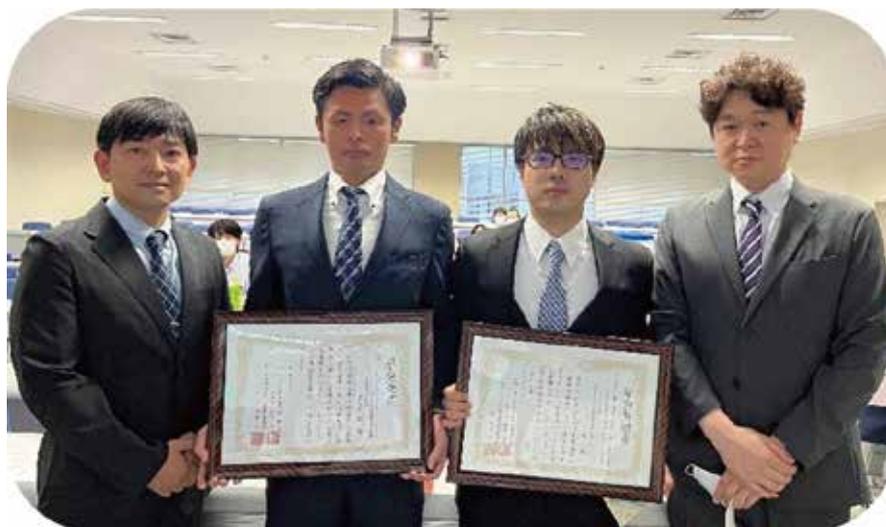
演題名：Water Walker & Spaを用いた水中運動療法が慢性腰痛の改善やQOL向上に有効であった一症例

この度は名誉ある学会奨励賞を賜り、大変光栄に存じます。学会長の鈴木伸洋先生、会長の平名章二先生をはじめ、関係の先生方に深謝いたします。

術後疼痛の残存はADLやQOLを低下させる要因であり、慢性疼痛改善を目的とした理学療法には難渋する症例も多いです。今回、強い慢性痛に対してWater Walker & Spaというリハビリテーション機器を用いた個別の水中運動療法を実施したところ、短期間で疼痛軽減に伴う睡眠や心理面の改善がみられ、QOLが向上した症例を経験しました。普段寝たきりで痛みのため運動を嫌がる症例でしたが、水中では浮力や水温のリラクセーション効果などの水の特性によって、症例はより大きな可動域で疼痛なく運動できました。これが結果的に、運動恐怖心の軽減や睡眠の改善につながり、日中の活動性・モチベーションの向上につながったと考えます。

個別の水中運動療法を行うことのできる機器はまだそこまで普及しておらず、治療効果の研究報告も多くはありません。しかし、今後の変形性関節症および慢性痛を有する患者さんの機能改善・QOL向上に大きく貢献する可能性があります。今後も症例数を増やし、一日でも早く慢性疼痛で苦しむ患者さんの治療に貢献できるようこれからも精進していきたいと思えます。

最後になりましたが、本症例の治療・評価・発表に関して助言・助力をくださった霧島整形外科病院の宮崎雅司部長をはじめ、理解・協力してくださったスタッフに深謝いたします。また、基礎研究だけでなく臨床的な研究を行うことのできる環境を提供し指導してくださる鹿児島大学の榎間春利教授と、発表に関して助言くださった同研究室の大学院生・OBの先生方に改めて御礼申し上げます。



表彰式時写真

(左より、鈴木学会長、木佐貴 勲先生、
谷 明 先生、平名会長)

写真コンテスト作品募集



鹿児島県理学療法士協会福利厚生部主催の 2023 年度写真コンテストを開催いたします。会員の皆様から多数のご応募をお待ちしております。

応募期間 : 令和 5 年 8 月 1 日～令和 5 年 12 月 31 日

応募資格 : 鹿児島県理学療法士協会会員

賞について : 最優秀賞(1 点) 優秀賞(2 点) 佳作(5 点)

※副賞あり

受賞者発表 : 令和 6 年 2 月下旬に直接受賞者に連絡いたします。

また士会 HP 及びニュースにて発表いたします。

応募方法 : 鹿児島県理学療法士協会ホームページのお知らせ

2023 年度写真コンテスト応募要項をご確認ください。

担当 : 鹿児島県理学療法士協会 福利厚生部

田上記念病院 リハビリテーション部 川上剛

TEL : 099-282-0051

Email:reha_kawakami@shunpukai.com

2023年度 写真コンテスト応募要項

公益社団法人 鹿児島県理学療法士協会 福利厚生部

1. 応募期間：令和5年8月1日～令和5年12月31日

2. 応募資格：鹿児島県理学療法士協会会員

3. テーマ

「リハビリと笑顔」をテーマとした作品に、作品名とエピソードを添えてご応募ください。

4. 応募方法

本応募要項を了承したうえで、カメラ、デジタルカメラ、スマートフォンなどで撮影した静止画像データを、下記の応募先までお送りください。メールの件名を“写真コンテスト応募”とし、①氏名(フリガナ)、②会員番号(8桁)、③勤務先、④連絡先(電話番号)、⑤メールアドレス、⑥作品名、⑦エピソードを記入し、添付データとして作品をお送りください。1名につき1点応募できます。

※ 作品のファイルサイズが大きく送信できない場合は、圧縮してお送りいただくか、大容量送信サービスをご利用ください。

応募先：reha_kawakami@shunpukai.com

※ 応募して1週間経過しても返信がない場合はお手数ではありますが、お問い合わせ先の電話番号までご連絡ください。

5. 賞について

本会にて審査を行います。最優秀賞(1点) 副賞あり 優秀賞(2点) 副賞あり 佳作(5点) 副賞あり

6. 受賞者発表について

令和6年2月下旬に直接受賞者に連絡いたします。また鹿児島県理学療法士協会ホームページ及びニュースにて発表いたします。

7. 応募条件

- 1) 公序に反するもの、テーマにそぐわないもの、画像の不鮮明なもの等は無効といたします。
- 2) 過去のコンテストなどで入賞あるいは入選したことのない、オリジナル作品に限ります。また、他のコンテストなどに応募し、まだ結果の出していない作品は応募いただけません。
- 3) 応募作品のうち、入賞された作品については、本会が優先的にプリント展示、出版物、宣伝広告、インターネットなどの本会広報媒体に掲載するために使用する権利を保有させていただきます。使用にあたっては撮影者の氏名の表示を行います。なお、使用にあたっては無償とさせていただきます。
- 4) ポスターへの掲載、リーフレットへの掲載、ホームページなどへの活用などで、必要最低限の加工をすることがあります。応募された場合、本項の同意があったものとみなします。
- 5) 第三者の権利(著作権、肖像権など)を侵害する作品は応募できません。本コンテストの応募に関しては、テーマの性格上、被写体に人物写真が多いと思われませんが、当該被写体となられる方には、了解を得た上での応募をお願いします。万一、第三者と紛争が生じた際は、応募者自身の責任と費用負担によって解決していただきます。

8. 応募作品の権利

- 1) 応募作品の著作権は撮影者に帰属します。
- 2) 応募作品を無断で第三者に貸与することはありません。貸与する場合には、撮影者に事前に利用目的、使用条件(有償、無償)を説明した上で、承諾が得られたものについてのみ貸与いたします。

9. その他

- 1) 応募作品は返却いたしません。
- 2) 審査状況や審査結果に関するお問い合わせには応じられません。
- 3) 受賞後に応募に関して違反が判明した場合、賞は取り消しとなり、賞金を返還していただきます。
- 4) 入賞作品の実際の使用にあたってのデータの一部を修正することがあることをご了承願います。

お問い合わせ先：鹿児島県理学療法士協会 福利厚生部

田上記念病院 リハビリテーション部 川上 剛

TEL：099-282-0051

E-mail:reha_kawakami@shunpukai.com

研修会のお知らせ

令和5年度 訪問リハビリテーション研修会

本研修会は、全国訪問リハビリテーション振興委員会の定める、訪問リハビリテーション実務者研修の内容を、下記の日程で開催いたします。

現在、地域で従事されている方、訪問リハビリに興味のある方の参加をお待ちしております。

主 催：(一社) 鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会
鹿児島県訪問リハビリテーション研究会

開催日：令和5年9月30日(土) 8:45～17:05
(ミーティングルーム入室 8:30から)

方 法：ZOOMによるオンライン研修

	講義	講義内容	講師
30日(土) 8:45～17:05	8:45～8:50	開会式	
	訪問リハ制度論 8:50～9:50	訪問リハビリテーションにおける諸制度の理解	ひさまつクリニック 理学療法士 戸田 博之 先生
	リスク管理論 9:55～10:55	在宅医療・介護のリスク管理の考え方について	ひさまつクリニック 医師 久松 憲明 先生
	訪問リハ技術論 11:00～12:00	ADL・IADLについて	合同会社 Ridicolo. 作業療法士 田之上 友彦 先生
	12:00～12:05	事務局連絡	
	12:05～12:45	昼休憩	
	訪問リハ連携論 12:45～13:45	情報伝達、コミュニケーションについて	介護老人保健施設クオリエ ソーシャルワーカー 廣野 拓 先生
	訪問リハ技術論 13:50～14:50	言語・嚥下について	平和会訪問看護ステーション紫原 言語聴覚士 太田 和彦 先生
	訪問リハ技術論 14:55～15:55	基本動作について	いづろ今村病院 理学療法士 土井 敦 先生
	16:00～17:00	グループワーク 生活期に関わるセラピストに必要な要素について考える	平和会訪問看護ステーション紫原 理学療法士 金谷 親好 先生
	17:00～17:05	閉会式	

- 対 象：鹿児島県のPT・OT・ST協会に所属する会員
- 定 員：80名(先着順)
- 参加費：2,000円 銀行振込手数料は各自ご負担をお願いいたします。
(9月15日までに受講決定の案内を通知します。その通知にて参加費の振込口座番号と振込期限をお伝えいたします。)

【QRコード】



●申し込み期間：令和5年8月28日(月)～9月11日(月)

●申込方法：下記URLまたはQRコードよりgoogle formにて申し込み
ください

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfpl30KD87Y1niWizZ6_f8W_dE6giQOFZJmRZ_8LVaJurqI3g/viewform

【生涯学習ポイントについて】

※ 本研修会は、各士会の生涯学習ポイント対象となります。各士会で申請方法は異なりますので、当日、ポイント申請についてお知らせいたします。

理学療法士協会：登録理学療法士更新ポイント カリキュラムコード169 訪問理学療法 7ポイント
(既にかリキュラムコード169 訪問理学療法のポイントが付与されている方は対象
となりません)

作業療法士協会：基礎ポイント 2ポイント

言語聴覚士会：生涯学習ポイント

【修了証について】

※ 修了証の発行条件：7講義、全て受講された方に対して、「訪問リハビリテーション実務者
研修会」の修了証を発行いたします。

【メールアドレスについて】

※ 資料は事前に申し込みの際に記載いただいたメールアドレスに、研修会数日前に添付ファイルで送付いたします。そのため、申し込みは添付ファイルが受け取れるようなアドレスを指定
ください。

ドメイン (@の後にあるアドレス) がdocomoやezweb、softbankなどのメールアドレスは
添付ファイルが送信できませんので、別のメールアドレスを指定ください。

【資料配布・ID・パスワードについて】

※ 資料を送るメールにて、ミーティングルームのサインインに必要なIDとパスワードもお知らせ
いたします。

【参加の際の推奨するデバイスについて】

※ グループワークの際、各グループで意見を記録してもらい、画面共有することを検討してい
ます。画面を見ながらキーボード等でスムーズに入力できる準備をしてください。(できまし
たらパワーポイントを備えているパソコンでの参加をお願いいたします。)

【キャンセルについて】

※ 振り込み後のキャンセルは返金できません。 ご了承ください。

お問い合わせ先：以下の鹿児島県訪問リハビリテーション研究会のアドレスまで
連絡をください。

メールアドレス houmon.kagoshima@gmail.com

お問い合わせのある方は、名前、所属、職種を明記ください。

2023年度 奄美地区症例検討会のお知らせ

鹿児島県理学療法士協会 奄美地区長 當田直哉

2023年度 奄美地区症例検討会についてご案内申し上げます。
会員の皆様の多数のご参加をお願い申し上げます。

【 奄美地区症例検討会 E-1：神経系 E-2：運動器系 E-3：内部障害系理学療法学 】

日 時：2023年12月1日（金）19:00～

場 所：Webにて開催予定（ZOOMにて開催予定）

* 症例検討会参加の締め切り：令和5年11月24日（金）

【 症例検討会演題募集について 】

発表を希望される方は募集要項を参考しお申し込みください。

講義テーマ【E-1 神経系理学療法学、E-2 運動器系理学療法学、E-3 内部障害系理学療法学】
を選択ください。

症例発表者の事前登録の方は必ず令和5年11月3日（金）までのエントリーをお願いいたします。

（11月3日までに抄録等やスライドが完成していなくても登録が必要です）

*：発表者は必ず施設の倫理委員会の審査もしくは所属長の許可を得て発表するようお願いいたします。

【 症例検討会発表・参加申し込み方法 】 発表・参加ともに事前申し込みが必要です。

申し込み先： 奄美市笠利国民健康保険診療所 當田 E-mail：amami.pta@gmail.com

E-mail に件名「奄美地区症例検討会 申し込み」と明記し、参加者は①～⑤を記入ください。

発表者は、①～⑥を記入ください。

① 氏名・フリガナ ② 勤務先 ③ 生年月日（西暦） ④ 会員番号（8ケタ）

⑤ 2023年度会費納入について（未納の場合は受講できません）

⑥ 講義テーマ選択【 E-1 神経系理学療法学、E-2 運動器系理学療法学、E-3 内部障害系理学療法学 】

【 発表について 】

- ・レジュメA4サイズを事前に提出して頂く形になります。
- ・発表時間に制限はありませんが、発表質疑応答含め30分となります。

【 参加について 】

- ・開催3～4日前には、zoom ID パスワードを申し込みメールに送信いたします。連絡がない場合は、お問い合わせください。

【 履修コマ数について 】 *後期研修・前期研修D-2受講中の場合、付与されます。

- ・発表者は、1回発表で1コマとなります。
- ・参加者は、聴講が3回で1コマの対象となります。

ご不明な点は下記までお問い合わせください。

美市笠利国民健康保険診療所 リハビリテーション科 當田（トウダ）

[E-mail：amami.pta@gmail.com](mailto:amami.pta@gmail.com)

T E L 0997-63-0011

令和5年度 ダイハツ「健康安全運転講座」報告

弥 栄 博 文

今年で3年目になりますダイハツ「健康安全運転講座」が、6月21日（水）に鹿児島ダイハツ販売株式会社 始良店で地域住民19名の方が参加して開催されました。参加者は、平均年齢76.3歳、男性10名、女性9名と男女比がほぼ同じとなっています。

「いくつになっても自由に移動できる自立した生活をサポートしたい」との思いから、鹿児島ダイハツ・JAF（産）、始良市（官）、鹿児島県理学療法士協会（学）、始良市民（民）が一体となった地域密着プロジェクトです。

今回、介護予防推進リーダー取得者で理学療法士賠償責任保険(任意加入部分)に加入していることを条件に始良地区会員にスタッフとして参加していただきました。

当日は、我々の講話、体力測定、頭と体のトレーニングの他にJAF様による運転席からの死角体験、動体視力の確認、鹿児島ダイハツによる衝突回避支援ブレーキ機能体験という2時間の講座でした。

例年、参加者に「このイベントは楽しかった」とのご感想をいただいております、今回もアンケート未回答の方1人を除いて全員が「楽しかった」「次回も参加したい」と言われていました。

11月にもこのイベントが計画され、定着した地域活動になってきています。



研修会報告 (学術部)

学術部長 川 田 将 之

○ 鹿児島県理学療法士協会学術部研修会

タイトル：運動器疾患における歩行障害の評価と治療 -股関節障害を中心に-
講 師：建内 宏重 先生 (京都大学)
会 場：鹿児島大学医学部保健学科共通教育棟インテリジェント講義室
日 時：2023年7月23日(日) 9:30~16:40
参 加 者：58名

7月23日に令和5年度第1回学術部研修会を上記の通り開催しました。休日にも関わらず、多数の会員にご参加をいただきありがとうございました。

建内先生に鹿児島県士会で研修会を行っていただくようになって数年経過しましたが、毎年新しい知見や建内先生ご自身の研究実績に基づいた情報が更新され、常に新鮮な気持ちで受講しています。論文等のエビデンスのみならず、臨床現場でもすぐに使える研修内容で、質疑応答でも臨床現場での悩み等にもお答えいただき充実した研修会となりました。

○ 学術部研修会について

昨年度まで、新型コロナウイルス感染症の影響で、オンライン研修会のための形式で開催しておりましたが、今年度より、対面とオンラインのハイブリッド形式の研修会になりました。なお、オンラインでの受講にはいくつか条件を設定させていただいております。詳細は県士会ホームページをご確認ください。

また、研修会終了後3週間限定で、研修会のオンデマンド配信を行っております。こちらの配信は研修会参加者でなくても視聴可能です(オンデマンド配信のみではポイント付与対象とはなりませんのでご注意ください)。今年度のオンデマンド配信については、トライアル期間となっておりますので無料にて視聴可能です。ご希望のある方は鹿児島県理学療法士協会学術部(kpta.gakujyutsu@gmail.com)へご連絡下さい。

○ 今後の研修会予定

第3回 前庭機能に着目したリハビリテーション介入

～末梢前庭障害、中枢神経疾患を中心に～

日 時：10月15日(日) 9:30~12:40

講 師：塩崎 智之 先生 (奈良県立医科大学)

会 場：鹿児島大学医学部保健学科共通教育棟インテリジェント講義室

参加費：500円

登録理学療法士 更新：カリキュラムコード 5-73 (頭痛・めまい) 3ポイント

認定/専門理学療法士 更新：研修会 3点

第4回 脳卒中に対する歩行トレーニング 基礎から実際

日 時：12月17日(日) 9:30~16:40

講 師：大畑 光司 先生 (北陸大学)

会 場：鹿児島大学医学部保健学科共通教育棟インテリジェント講義室

参加費：500円

登録理学療法士 更新：カリキュラムコード 6-77 (中枢神経疾患の理学療法) 6ポイント

認定/専門理学療法士 更新：研修会 6点

第5回 腰痛に対する理学療法

日 時：1月28日(日) 9:30~16:40

講 師：成田 崇矢 先生 (桐蔭横浜大学)

会 場：鹿児島大学医学部保健学科共通教育棟インテリジェント講義室

参加費：500円

登録理学療法士 更新：カリキュラムコード 7-96 (疼痛に対する理学療法) 6ポイント

認定/専門理学療法士 更新：研修会 6点

専門領域研究部研修会のご報告

専門領域研究部理事 岩 森 俊

「運動器系」研修会 担当

ちゅうざん整形外科内科胃腸内科 牛ノ濱 政 喜

令和5年6月11日(日)に今村総合病院スポーツ整形外科の白尾泰宏先生にお願いしまして、「頸椎―肩甲帯の触診と評価・治療手技の展開」というテーマで、鹿児島大学医学部保健学科運動療法実習室にて行いました。今回数年ぶりの対面研修で、密にならないようにいつもの定員30名から20名に限定しました。案内も遅れてしまいましたが、参加者は17名でした。アルコール消毒、マスク着用での感染対策を行いながらの研修会でした。前半では、頸椎の解剖・触診、頸椎の評価と徒手的治疗手技、肩甲帯の解剖・触診を中心に、後半では肩甲帯の評価と徒手的治疗手技について行っていただきました。またキネシオテーピングを用いて交感神経不活性化や上腕骨頭前方移動抑制のテーピングも行っていただきました。終了後も質問に対して丁寧に対応していただきました。

運動器研修会では2人組を作っておいていただき、実際に手技を行ってもらいながら、白尾先生の個別対応を受けていただくスタイルをとっており、参加者の先生方にも毎回好評でリピーターが多く、キャンセル待ちになる研修会です。次回は10月を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。



全国障がい者スポーツ大会（かごしま大会）資格審査の活動報告

スポーツ委員会委員長 大 渡 昭 彦
部長 牛ノ濱 政 喜
部長 松 田 史 代

全国障がい者スポーツ大会（燃ゆる感動かごしま大会）資格審査（二次審査）活動報告

担当：鹿児島大学保健学科 松 田 史 代

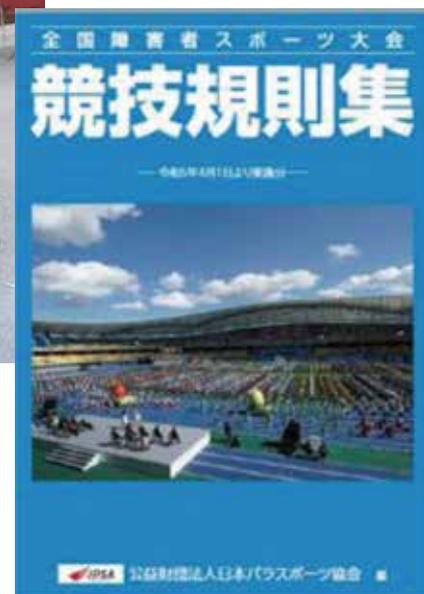
2018年度末に協力者を募り、2019年度より活動してきました資格審査（二次審査）業務につきまして無事に約4年半の活動を終えましたのでご報告いたします。

「障がい」といっても、「肢体不自由」「視覚障害」「聴覚障害」「知的障害」「精神障害」とありますし、「肢体不自由」の中でも障がいの原因疾患や障がい部位・程度により、出来るパフォーマンスが異なるため「障がい区分」というクラス分けがあります（ここが、健常人の競技大会と大きく異なる点です）。「障がい区分」が適切にエントリーされているか審査するのが、「資格審査」になります。資格審査は、実際の選手の動きを評価してのクラス分けとは異なり、事前にエントリーシート・障害手帳等の書類上で区分を行うものです。

2023年は鹿児島が開催地となり全国障がい者スポーツ大会が行われますので、全国の都道府県、政令指定都市よりエントリーされ、かつ障害区分が設定されている5競技（陸上、水泳、アーチェリー、卓球、ボッチャ、（フライングディスク））について619名の選手の参加申込書（エントリーシート）、障害者手帳の記載内容などより資格審査を行いました。



実際の県庁での資格審査の一場面



2023年度 競技規則集

参加申込書に記載されている傷病名、障害名、障害区分確認事項、特記事項など多岐の情報を基に派遣元がエントリーしてきた障害区分が、全国障がい者スポーツ大会競技規則集に掲載されている障害区分と合っているか1選手毎に確認していきました。

障害区分についての解釈や、複数の部位が手帳上記載されている場合の解釈、用語などしっかりと理解した上で審査を行わないと確認漏れや誤った障害区分で選手が大会で出場することになり、競技の公平性が保てなくなります。

619名を1日で審査するため、1件1件慎重に時間を掛けて行うことに時間的限界がありますので、迅速かつ正確な審査を行うために、これまで勉強会など実施し、知識を深めてきました。

鹿児島県の全国障害者スポーツ大会課 大会競技系の行政職の方々と協力しながら無事に活動をすることができました。

資格審査業務は、大会が開催される県が担当になりますので鹿児島県での業務は終わりましたが、地区予選会や県大会、選抜選手のエントリー時の障害区分最終確認など、毎年、障害区分判定業務はあります。スポーツ領域での活動は、トレーナー業ばかりではなく、このような形で理学療法の知識を活かせる分野もありますので、ご興味のある方の引き続きの参加どうぞよろしくお願いいたします。



全国障害者スポーツ大会課 大会競技係と資格審査（二次審査）員

全国障がい者スポーツ大会（かごしま大会）コンディショニンググループに従事する方々への事前研修会の開催報告

スポーツ委員会委員長 大 渡 昭 彦
部長 牛ノ濱 政 喜
部長 松 田 史 代

コンディショニンググループ事前研修会（座学編）の開催報告

担当：鹿児島大学保健学科 松 田 史 代

2023年10月28日～30日に開催されます特別 全国障がい者スポーツ大会（燃ゆる感動 かごしま大会）では、理学療法士協会としてコンディショニンググループの運営に携わります。

2023年2月末締め切りで、約80名の方々よりご協力の応募をいただきました。

鹿児島県理学療法士協会は、

○陸上競技

（白波スタジアム，鹿児島市）

○水泳

（鴨池公園水泳プール，鹿児島市）

○車いすバスケットボール

（いちき串木野市総合体育館，いちき串木野市）

○ソフトボール

（知覧平和公園多目的球場，南九州市）

○フットベースボール

（知覧平和公園陸上競技場，南九州市）

○サッカー（知）

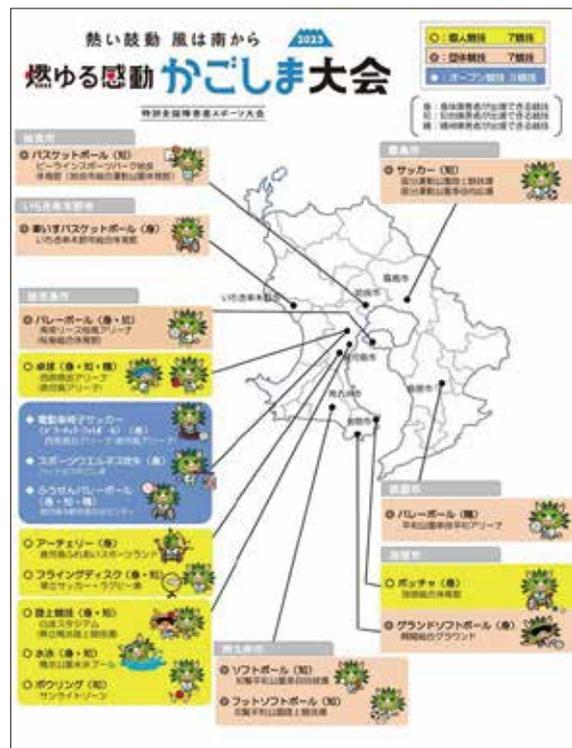
（国分運動公園陸上競技場，霧島市）

○ボッチャ（身）

（指宿総合体育館）

計7競技（7会場）

を担当いたします。



7/27（木）19:00～21:00（Zoomを利用したオンライン研修会）および7/30（日）9:00～12:00（対面研修会：鹿児島大学桜ヶ丘キャンパス）に全国障がい者スポーツ大会 コンディショニンググループ事前研修会（座学編）として下記の研修会を行いました。

前半「全国障がい者スポーツ大会の概要、対象障がい・対象競技について」

(担当：松田史代，鹿児島大学保健学科，上級障がい者スポーツ指導員)

後半「「コンディショニンググループ運営の実際」

(担当：7/27 竹内直人，八反丸リハビリテーション病院，障がい者スポーツトレーナー)

(担当：7/30 白元勇次郎，鹿児島第一医療リハビリ専門学校，障がい者スポーツトレーナー)



コンディショニンググループと言いましても担当する競技で、会場の運営方法や出場する選手の対象障害など異なります。

「身体障がい」でも、「肢体不自由（PTの得意分野だと思います）」「視覚障害」「聴覚障害」「内部障害」があり、「知的障害」もあります（今回、「精神障害」の選手が出場する競技はPT協会担当になっておりません）。

また、陸上・水泳の「個人競技」と、車椅子バスケットボール、ソフトボール・フットソフトボール、サッカー、ボッチャの「団体競技」では運営の方法が異なり、会場での滞在時間などが異なります。そのような特徴や注意点などについて、お話ししました。

後半は、これまで鹿児島県選手団トレーナーとしての帯同経験や先催県への視察経験などを踏まえて、運営の実際ということで、どのようなことを行うのか、その際の注意点など実際に携わる場合にイメージしやすい内容でお話ししていただきました。

8月下旬、9月上旬に次は実技研修会（アイシング、テーピングなど）を企画しております。現在、日時・会場を調整中です。決まり次第、登録いただいているメールアドレスにご連絡させていただきますので、メールチェックをよろしくお願いいたします。

今回の研修会は、コンディショニンググループ運営に従事する方向けの研修会運営になっており、その他の方々には受講機会を設けることはできませんでしたが、今後スポーツ委員会でも継続して研修会を開催できればと思います。

大隅地区 第1回研修会報告

大隅地区長

恒心会おぐら病院 永 濱 良 太

始良・大隅地区担当理事

恒心会おぐら病院 榎 畑 純 二

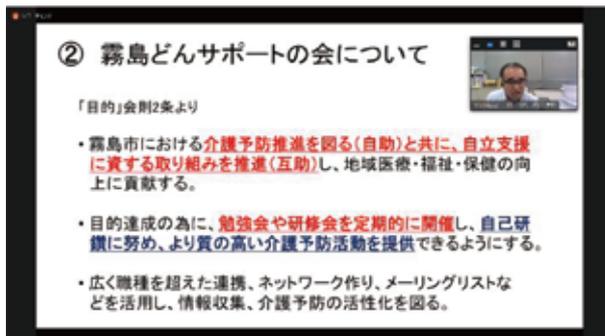
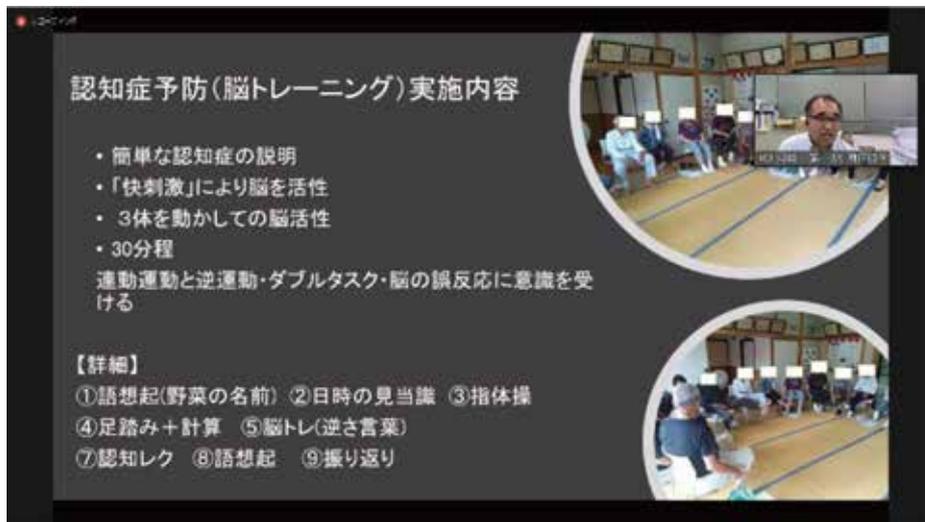
2023年度の大隅地区第1回研修会を7月21日に完全オンラインで開催いたしました。

今年度の研修会企画立案の会議で地域リハについての聴講希望がありましたので、今回は鹿児島第一医療リハビリ専門学校の神田勝利先生に「地域リハビリテーション事業の取り組み(霧島市)」の演題で御講演いただきました。講演内容としまして、霧島市行政とのやり取りの経緯説明、介護予防推進と自立支援として地域医療・福祉・保険の向上に貢献する目的で取り組まれている、霧島どんサポートの会やきりしま元気一番講座、居宅訪問・施設訪問などについてお話いただきました。また、コロナ禍での活動体験もお話いただき、非常に参考となりました。

公演後の質問も多数いただき、協力人材がなかなか集まらない悩みや、職場との交渉、行政のPTへの偏ったイメージ例など具体的なお話が聞け、有意義な意見交換もできたと感じております。

介護予防推進リーダーや地域ケア会議推進リーダーを取得し、各地域の活動に介入していくことは、職域の拡大に非常に重要であると改めて学ばせていただきました。

今回の聴講者は52名でした。



令和5年度 第1回南薩ブロック研修会および症例検討会報告

南薩地区長
木場 涼 介

令和5年7月13日(木)に第1回南薩ブロック研修会をWeb上(Zoom)で開催させていただきました。講師は医療法人菊野会菊野病院の矢山勉先生で、「仙腸関節障害の理学療法」というテーマについて約60分間にわたってお話いただきました。

内容として、仙腸関節障害の病態、解剖、運動学、痛みの発生メカニズム、評価、治療について説明がありました。具体的な臨床現場で用いられる評価や治療に関することについてもわかりやすく説明していただきました。仙腸関節障害の理学療法に関する重要な知識を得ることができました。臨床現場で使用される評価方法や治療手法についての情報は、私たちの臨床実践に役立つものでした。

その後、第1回症例検討会として、医療法人菊野会菊野病院の今藤圭汰先生による「TKA術後足部回内による跛行・二次障害予防に着目した一症例」と題して報告が行われました。症例報告後、参加した先生方からも質問や助言等いただき、充実した検討会となりました。

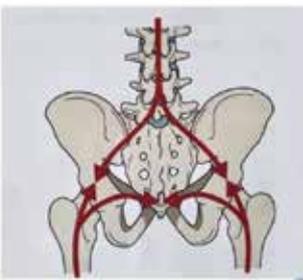
研修会司会進行および症例検討会座長を務めてくださった、川口啓太先生ありがとうございました。

仙腸関節の機能解剖

①機能的役割 ②安定化機構 ③仙腸関節の運動

①機能的役割

- 「荷重伝達」
- 「緩衝作用」
2~3mm程度のわずかな可動性で衝撃緩和
- 「運動補助」
運動時には、下肢の動きを補助しながら、運動を調整
例：股関節が屈曲する際には腸骨はわずかに後方回旋
股関節が伸展する際には腸骨はわずかに前方回旋





10024584 矢山勉



20169891 今藤圭汰

**TKA術後足部回内による
跛行・二次障害予防に着目した一症例**

菊野病院 理学療法士 今藤圭汰

私のおすすめ

医療法人安松整形外科
井之原 優 佑

初めまして。理学療法士2年目で、整形外科で働いています。井之原優佑といたします。

今回私が紹介する本は、医学書院出版の『観察による歩行分析』です。この本は学生時代に授業で使用するため購入し、今現在も臨床において参考にしている本の一冊です。

人間の生活において「歩行」とは重要な基本的動作の一つであり、整形外科の分野にかかわらず、理学療法士の客観的な動作分析や患者様の主観的な訴えにより問題点として挙げられやすく介入する頻度も多い動作です。しかし、そういった歩行の原因は筋力や関節の可動性、その他様々な要因が場合によっては複数影響し合うことも多いため、根本的な原因の特定が難しいこともあります。私自身も学生時代の実習や入職してから歩行分析を行う際は疼痛の訴えのある部位など一部分に目を向けてしまい治療が上手くいかないこともありました。そのためこちらの本を参考に歩行について勉強を行いました。

歩行分析を行う中で一番大切なことは正常な歩行を知り、問題となる歩行と比較し、どこが異なるのか把握することです。この本には正常な歩行に関する基本的な知識や用語の解説から歩行周期における筋の出力や関節モーメントを各関節や周期ごとに切り取って図や写真を交えて説明されているおり、それらを理解することで実際の歩行分析において歩行全体を見るよりも問題点を周期で切り取って絞り込みやすくなります。

また、後半には臨床においてよく見られる正常歩行と比較しての逸脱行動を股・膝・足関節、骨盤に分け、それぞれの逸脱行動の原因の説明もあり何故そのような行動をとるのかといった疑問も解消してくれます。その他にも歩行における周囲の環境や患者様の精神、中枢系の影響についても触れておりより歩行への理解が深まります。

最後に日々の診療に少しでも役立てていただければ幸いです。

医学書院 観察による歩行分析

<<https://www.igaku-shoin.co.jp/book/detail/10151>>



事務局だより

令和5年5月3日～令和5年7月31日現在受理分

ニュース

新潟No. 203 大阪No. 298 熊本No. 142 広島No. 274
神奈川No. 296 秋田No. 209 和歌山No. 99
愛知No. 210 兵庫No. 200

学会誌

鹿児島県医師会報 第863号
介護保険における福祉用具の利用安全及びサービスの質の向上に資する事業所の体制を強化するための調査研究事業報告書
第26回静岡県理学療法学会大会誌
理学療法湖都 第42号
理学療法ジャーナル Vol.57 No. 6
四国理学療法士創立50周年記念誌
理学療法ジャーナル Vol.57 No. 7
総合理学療法学(大阪府) Vol.3
鹿児島県医師会報 第865号
理学療法ジャーナル Vol.57 No. 8

<会員動向> (7. 1 定期承認まで)

入会 78件 県内異動 196件 転入 17件 転出 26件
休会 51件 休会継続 170件 復会 31件 退会 18件
先生方の名前については控えていただきます
会員数 2673名
会員所属施設数 453

役員行動録

5月13日 小川かつみ授章祝賀会 (平名)
5月15日 3役会 (平名・生駒・東條)
5月17日 PT協会監査 (東條)
5月19日 理事会 (平名・生駒・東條)
5月22日 県訪問看護協会会議 (平名)
5月31日 県リハフェスティバル準備委員会 (平名)

6月1日 鹿児島県循環器病対策推進協議会計画策定部会
6月9日 鹿児島JRAT役員会・総会 (平名)
6月11日 JPTA代議員総会 (平名・生駒・東條)
6月13日 3役会 (平名・生駒・東條)
6月14日 理事会 (平名・生駒・東條)
6月19日 POS連絡協議会監査 (東條)
6月20日 POS連絡協議会監査 (東條)
6月21日 士会長意見交換会 (平名)
6月23日 POS連絡協議会鹿児島市地域支援事業意見交換会 (平名・生駒・東條)
6月24日 PT協会総会 (平名・生駒・東條)
6月25日 前期研修A (白尾)
6月26日 POS連絡協議会鹿児島市地域リハ事業説明会 (平名・生駒・東條)
6月27日 POS連絡協議会理事会 (平名・生駒・東條)
7月1日 九州ブロック士会長会議 (平名・生駒)
九州ブロック事務局長会議 (東條)
JPTA理事会傍聴 (白尾)
7月4日 鹿児島県地域・職域・学域連携推進委員会 (平名)
7月6日 POS推進リーダー研修会打合会 (生駒・東條)
7月8日 九州作業療法学会開会式 (平名)
7月10日 3役会 (平名・生駒・白尾・東條)
学術部引継会 (白尾)
7月12日 理事会 (平名・生駒・白尾・東條)
7月14日 POS連絡協議会総会 (平名・生駒・東條)
7月20日 始良市地域ケア会議 (東條)
7月21日 鹿児島市長寿あんしん課 事務局来訪対応 (東條)
7月23日 前期研修A (生駒・白尾)
学術部研修会 (白尾)
7月24日 鹿児島県高齢者保健福祉計画作成委員会 介護部会 (平名)
7月27日 鹿屋市打合会 (東條)
専門領域研究部引継会 (白尾)
7月29日 県訪問看護協会総会 (平名)

編集後記

毎日暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。薄暗い時間帯に外出してもまだまだ暑いと感じます。夜になっても気温が下がりがきらないので、夜間熱中症に注意が必要です。こまめな水分補給や屋内の湿湿度の管理に気をつけたいですね。

広報誌に関してご意見等ございましたら、編集部まで連絡をお願い致します。

rihabiri@gyokusyokai.com

編集部 吉村優希